

目次

I. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 本館	
1. 沿革	1
2. 施設概要	1
(1) 施設の名称と位置	
(2) 施設の概要	
(3) 主要施設・面積	
(4) 建設事業費	
3. 事業概要	
(1) 常設展示	2
(2) 企画展示	3
(3) 埋蔵文化財発掘調査	4
(4) 是川遺跡出土品保存修理事業	6
(5) 世界文化遺産登録へ向けた取り組み	6
(6) 是川遺跡の整備活用	7
(7) 教育普及	7
(8) 地域連携	11
(9) 資料収蔵	12
(10) 調査研究	12
(11) 情報発信	14
(12) ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	15
II. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館(八戸市縄文学習館)	
1. 沿革	16
2. 施設概要	16
(1) 施設の名称と位置	
(2) 施設の概要	
(3) 主要施設・面積	
(4) 建設事業費	
(5) 展示改修等事業費	
3. 事業概要	17
(1) 常設展示①(常設展示室)	
(2) 常設展示②(情報資料室)	
III. 管理運営概要	
1. 協議会	18
(1) 平成25年度是川縄文館運営協議会	
(2) 平成25年度是川縄文館懇談会	
2. 日記抄	19
3. 来館者利用状況	22
4. 八戸市内小中学校利用状況	23
5. 資料利用状況	23
(1) 映像資料	
(2) 実物資料	
6. 予算概要	27
IV. 組織・関係団体	
1. 組織及び職員構成	28
2. 八戸縄文保存協会	28
3. 是川文化財愛護会	29
4. 是川縄文隊	29
5. 縄文是川ボランティア	29
利用案内	30

I. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 本館

1. 沿革

是川縄文館は是川遺跡、風張1遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資するとともに、埋蔵文化財センターとして市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるための施設である。

- 平成 9 年 (1997) : 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成 15 年 (2003) : 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成 16 年 (2004) : 「是川縄文の里整備検討委員会」が (仮称) 是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。
- 平成 17 年 (2005) : (仮称) 是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成 18 年 (2006) : 施設の機能にあわせ、(仮称) 是川縄文館と改める。プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
- 平成 19 年 (2007) : 実施設計を実施。
- 平成 20 年 (2008) : 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成 21 年 (2009) : 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成 22 年 (2010) : 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成 23 年 (2011) : 7 月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館 (7 月 10 日)。
 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
 開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催 (7 月 10 日～9 月 25 日)。
 開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催 (7 月 17 日)。
 8 月 来館者 1 万人達成。
 10 月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催 (10 月 15 日～11 月 13 日)。
- 平成 24 年 (2012) : 7 月 開館 1 周年行事開催 (7 月 7 日～7 月 24 日)。
 来館者 5 万人達成。
- 平成 26 年 (2014) : 6 月 来館者 10 万人達成。

2. 施設概要

(1) 施設の名称と位置

○名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 ○住所：青森県八戸市大字是川字横山 1

(2) 施設の概要

- 構造：1 階鉄筋コンクリート造 + 2 階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株)丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1 階：2,408.19㎡ 2 階：2,185.63㎡

階	室名	面積	階	室名	面積	階	室名	面積
1F	体験交流室	142.88㎡	1F	館長室 (応接室)	36.87㎡	2F	図書閲覧コーナー	91.19㎡
	アプローチ展示	229.53㎡		事務室	79.12㎡		研修室	62.12㎡
	特別収蔵庫	139.49㎡		会議室	51.12㎡		調査記録保管室	39.78㎡
	特別収蔵庫前室	22.70㎡		スタッフルーム	46.51㎡		書庫	133.42㎡
	一般収蔵庫	473.06㎡	器材庫	56.25㎡	研究室		151.13㎡	
	荷解場	104.62㎡	常設展示室	503.01㎡	出土品整理室		143.47㎡	
	保存科学室	55.44㎡	国宝展示室	46.60㎡	図面整理室		87.86㎡	
	作業室	54.90㎡	企画展示室	178.37㎡	写真撮影室		41.66㎡	
ミュージアムショップ	78.59㎡	展示準備室	81.94㎡	ベビーコーナー	4.48㎡			

○駐車場：普通車 86 台、大型バス 6 台、障がい者用 3 台 ○トイレ：2 箇所 (障害者用含む、職員用除く)

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439 千円

- 基本・実施設計：87,740 千円 ○外構工事等：189,120 千円 ○本棟工事等：1,628,434 千円
- 器材庫建築工事等：50,012 千円 ○展示工事：287,133 千円

3. 事業概要

(1) 常設展示

常設展示は、直感的な手法では川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行なう（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を解く」ことをテーマとしている。

導入部のイメージン・シアターは、来館者には川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多用に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成する。続く「縄文の美」は「漆の美」「是川のみ」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。平成25年度はその第3回目として「縄文土器の野焼き方法を考える」を実施した。平成24年度に実施したワークショップ「縄文時代の野焼き方法を考える」の成果報告である。

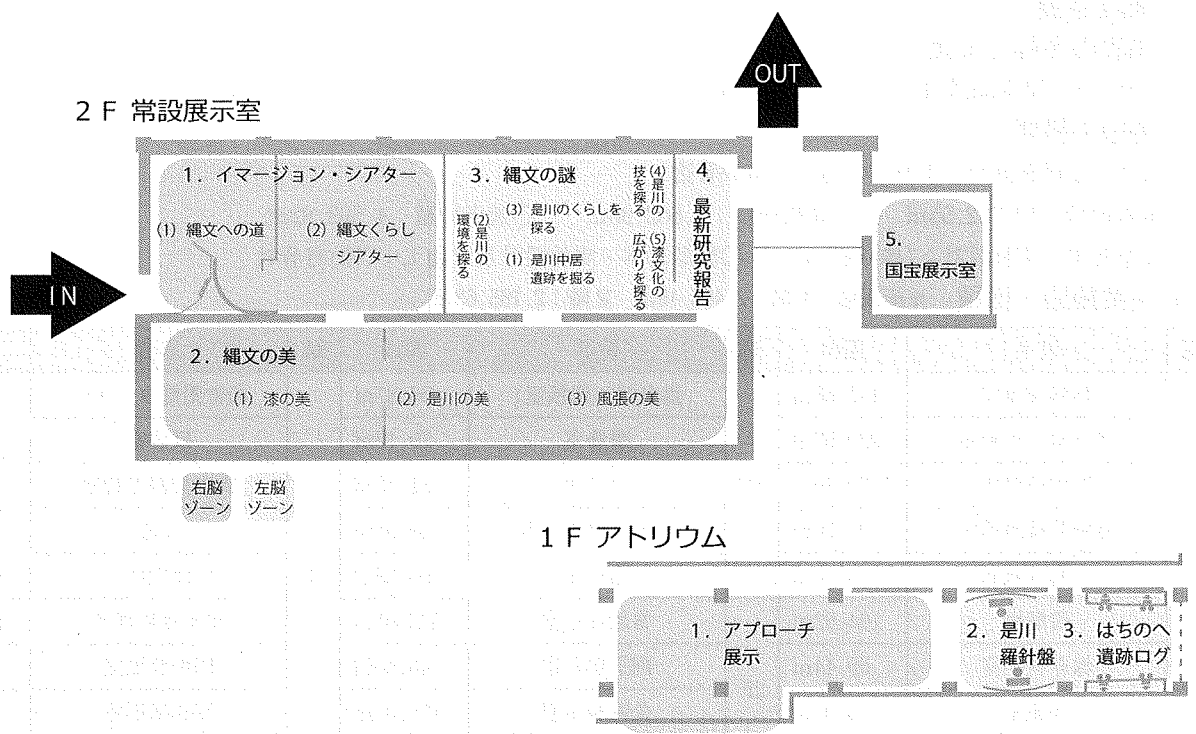
合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。

なお、1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

常設展示品（平成25年度）

考古資料のうち、国指定重要文化財が占める割合は8割を超える。

展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	53	51	2	—	—	—
是川のみ	226	182	44	—	—	—
風張の美	203	203	—	—	—	—
縄文の謎	87	49	3	1	24	10
最新研究報告	19	—	6	13	—	—
国宝展示室	1	※国宝 1	—	—	—	—
計	589	486	55	14	24	10



展示構成

(2) 企画展示

平成 25 年度は、春季企画展「掘り day はちのへ」、特別展「みみずく土偶と縄文人」、秋季企画展「縄文時代の津軽半島」を開催した。併催行事として、特別展考古学講座及び秋季企画展考古学講座を行った。

春季企画展「掘り day はちのへー平成 24 年度発掘資料展ー」

開催期間	4月27日(土)～6月23日(日) 52日間
観覧者数	4,135名(79人/日)
展示資料数	120点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 解説リーフレット(A3版)20,000枚 用語解説・展示品一覧(A3版)5,000枚 招待券338枚
主な展示品	縄文土器(田代遺跡・松ヶ崎遺跡・冷水遺跡・牛ヶ沢(4)遺跡、三沢市猫又(2)遺跡)、弥生土器(田代遺跡)、石皿(田代遺跡・中居遺跡・荒谷遺跡・田面木平(1)遺跡・田向遺跡・見立山(2)遺跡、三沢市猫又(2)遺跡*1、階上町滝端遺跡*2)、土師器(櫛引遺跡) 中国青磁(新井田古館遺跡)、常滑陶器(館平遺跡・根城跡本丸、岩手県柳之御所遺跡*3)



*1…三沢市教育委員会 蔵 *2…階上町教育委員会 蔵 *3…平泉文化遺産センター 蔵

併催行事 ギャラリートーク 5/11、6/9 各日とも 11:00～・14:00～

平成 24 年度に八戸市内で行われた、主要な発掘調査の成果及び出土品を紹介した。企画展のタイトルは、年度毎の発掘成果を広報する小冊子「掘り day はちのへ」からとったもの。発掘調査成果の展示のほか、「縄文時代の石皿」・「土器の容量」・「是川遺跡と泉山兄弟」の3つの小特集をあわせて行った。また、調査を担当した学芸員によるギャラリートークを開催し、好評であった。

特別展「みみずく土偶と縄文人 ～関東の晩期安行文化～」

開催期間	7月20日(土)～9月2日(月) 41日間
観覧者数	4,577名(111人/日)
展示資料数	203点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚 解説リーフレット(A3版)5,000枚 招待券1,000枚 図録(A4版87ページ)500部
主な展示品	縄文土器(埼玉県馬場小室山遺跡・雅楽谷遺跡・赤城遺跡・小深作遺跡・奈良瀬戸遺跡、群馬県千網谷戸遺跡)、みみずく土偶(埼玉県後谷遺跡・裏慈恩寺遺跡・赤城遺跡、群馬県千網谷戸遺跡、栃木県藤岡神社遺跡・後藤遺跡)、土製耳飾り(群馬県千網谷戸遺跡、埼玉県赤城遺跡、茨城県二十五里寺遺跡)、人面付土版(埼玉県東北原遺跡・原ヶ谷戸遺跡・赤城遺跡・後谷遺跡)、岩版(群馬県千網谷戸遺跡・北米岡遺跡、栃木県藤岡神社遺跡)、動物形土製品(栃木県藤岡神社遺跡、埼玉県久台遺跡・東北原遺跡)、玉類(群馬県千網谷戸遺跡、栃木県藤岡神社遺跡)



併催行事 特別展考古学講座 8/24 14:00～16:00

是川遺跡に代表される縄文晩期に東北地方で広がっていた亀ヶ岡文化と、その周辺文化の比較展示。関東地方の晩期安行文化を取り上げ、各地からこの文化を代表する、みみずく土偶を中心に優品を集めて展示。関東のユニークな造形美や東北・関東地方の地域間での交流関係について紹介した。ハンズオン展示では、みみずく土偶の塗り絵を指人形にするコーナーを設け好評であった。

秋季企画展「縄文時代の津軽半島」

開催期間	10月12日(土)～11月24日(日) 38日間
観覧者数	2,884名(75人/日)
展示資料数	235点
印刷物	ポスター(B2版) 500枚 リーフレット(A4版) 50,000枚 解説リーフレット(A3版) 2,000枚 招待券 750枚 図録(A4版カラー 47ページ) 500部
主な展示品	縄文土器(つがる市石神遺跡・田小屋野貝塚・亀ヶ岡遺跡、五所川原市オセドウ遺跡・五月女菴遺跡、外ヶ浜町大平山元Ⅰ遺跡・中ノ平遺跡・間沢遺跡・尻高(4)遺跡・宇鉄遺跡・今津(1)遺跡、今別町山崎遺跡)、製塩土器(外ヶ浜町今津(1)遺跡)、土偶(つがる市石神遺跡、外ヶ浜町宇鉄遺跡、五所川原市五月女菴遺跡)、石核・石刃・尖頭器・局部磨製石斧(外ヶ浜町大平山元Ⅱ遺跡)
併催行事	企画展考古学講座 11/9 14:00～16:00



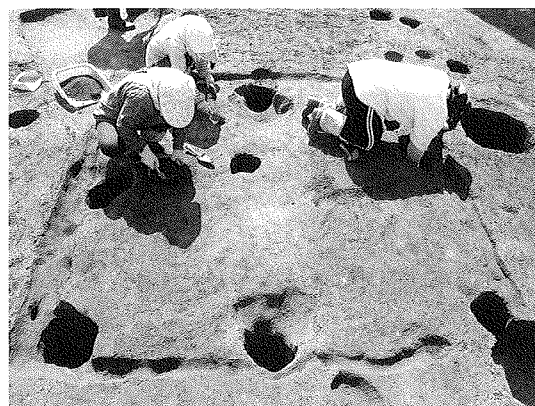
県内各地の縄文文化の地域性を紹介する企画展示。三方が海に囲まれるなど八戸地域と立地環境が異なる津軽半島を取り上げ、個性豊かな縄文文化を出土品とともに紹介した。ハンズオン展示では、ベンケイガイと復元した腕輪を展示し、好評であった。

(3) 埋蔵文化財発掘調査

【埋蔵文化財発掘調査】

八戸市には、489箇所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在し、土木工事等の開発により遺跡が破壊される場合、事前に記録調査のため発掘調査が必要となる。市では、社会教育課に提出された遺跡内の工事に係る届出（通知）書に基づき、是川縄文館で発掘調査を実施している。

平成25年度は、28遺跡及びその隣接地の計54件の発掘調査を実施した。内訳は試掘・確認調査39件、本発掘調査15件（試掘後の本調査を含む）である。調査数が最も多い遺跡は田面木地区に所在する田面木遺跡で7件を数える。調査面積が最も大きかったのは、昨年度から調査を実施している新井田古館遺跡で、合わせて2,325㎡の調査を実施した。今年度は4ヶ所の遺跡でその範囲が拡張し、2ヶ所が新規の遺跡として登録された。調査原因の種類別では、個人住宅建築26件、店舗兼住宅2件、集合住宅（アパート）建築2件、市道改良（舗装）工事4件、鉄塔建設2件、太陽光発電施設建設3件、農地造成・自然崩壊ほか15件となっており、個人住宅建築に係る発掘調査件数が多く、太陽光発電施設建設に伴う大規模な面積の試掘調査が増加している。



新井田古館遺跡の発掘調査

【埋蔵文化財調査報告書】

平成25年度に実施された発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計6冊を年度末に刊行した。

平成25年度刊行埋蔵文化財調査報告書一覧

八戸市埋蔵文化財調査報告書	第143集	八戸市内遺跡発掘調査報告書 31
	第144集	一王寺(1)遺跡
	第145集	狼走(2)遺跡 北熊ノ沢(2)遺跡
	第146集	館平遺跡第27地点 咽平遺跡第3地点
	第147集	新井田古館遺跡第28地点
	第148集	新井田古館遺跡第29地点

平成 25 年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積(m ²)	主な時代
市内遺跡発掘調査事業	田面木遺跡第42地点	試掘	個人住宅建築	H25.4.16	35	平安・集落跡
	新田遺跡	試掘	個人住宅建築	H25.4.17	14	縄文、奈良・散布地
	館平遺跡隣接地	試掘	個人住宅建築	H25.4.17	10.5	縄文、平安、中世・集落跡
	堀端(1)遺跡隣接地	試掘	個人住宅建築	H25.4.18	12	縄文、平安・集落跡
	雷遺跡隣接地	試掘	住宅建築	H25.4.23	8	縄文、弥生、古代・散布地
	殿見遺跡	試掘	個人住宅建築	H25.4.30	18	縄文、古代・散布地・古墳
	根城跡岡前館	試掘	賃貸住宅建築	H25.4.30	3.5	中世・城館跡
	八戸城跡②	試掘	店舗兼住宅建築	H25.5.9	4.5	近世・城館跡
	三社遺跡	試掘	墓地造成	H25.5.24~5.25	118	縄文・古代・散布地
	山内遺跡第3地点	試掘	宅地分譲	H25.5.29~5.31、 8.2~8.3	524	古代・集落跡
	白蛇遺跡第1地点	試掘	寺院建築	H25.6.4~6.20	1,068	古代・集落跡
	金屎遺跡	試掘	太陽光発電所設置	H25.6.5~6.20	420	弥生・散布地
	田面木遺跡②	試掘	個人住宅建築	H25.6.7	20	縄文、古代・集落跡
	沢里山遺跡①	試掘	個人住宅建築	H25.6.12	21	縄文、奈良、平安・散布地
	石橋遺跡	試掘	太陽光発電所設置	H25.6.19~6.27	726	縄文・散布地
	三社遺跡1地点	試掘	太陽光発電所設置	H25.6.25~7.31	2,458	縄文・古代・散布地
	館平遺跡第27地点	試掘	道路改良工事	H25.6.28	48	平安、近世・集落跡
	酒美平遺跡	試掘	個人住宅建築	H25.7.26	37.5	縄文、古代・集落跡
	細越遺跡第1地点	試掘	個人住宅建築	H25.8.2~8.3	16	近世・散布地
	千石屋敷遺跡第7地点	試掘	個人住宅建築	H25.8.6	13.5	古代・集落跡
	八戸城跡第30地点	試掘	個人住宅建築	H25.8.6	40	近世・城館跡
	上ノ沢遺跡①	試掘	福祉施設建設	H25.8.7	9	縄文、奈良、平安・散布地
	八戸城跡①	試掘	個人住宅建築	H25.8.7	46	近世・城館跡
	高陣場(1)遺跡	試掘	資材置場造成	H25.8.7~8.28	664	縄文・散布地
	松ヶ崎遺跡	試掘	個人住宅建築	H25.8.8~8.9	26.75	縄文、集落跡
	田面木遺跡第43地点	試掘	宅地分譲	H25.8.20~8.28	582.5	奈良、平安・集落跡
	田面木遺跡①	試掘	個人住宅建築	H25.8.27	22.8	縄文、古代・集落跡
	咽平遺跡第3地点	試掘	道路改良工事	H25.9.3~9.6	120	古代・集落跡
	市子林遺跡	試掘	個人住宅建築	H25.9.4	29.42	縄文、古墳~近世・散布地
	熊野堂遺跡第2地点	試掘	範囲内容確認	H25.9.11~9.14	240.4	古代・集落跡
	田面木遺跡第44地点	試掘	樹木伐採・整地	H25.10.22~10.29	234	古代・散布地
	沢里山遺跡②	試掘	個人住宅建築	H25.11.6	14	縄文、奈良、平安・散布地
	田面木遺跡隣接地③	試掘	個人住宅建築	H25.11.6	4	縄文、古代・集落跡
	駒ヶ沢遺跡第1地点	試掘	範囲内容確認	H25.11.6~11.15	240	縄文・集落跡
	上ノ沢遺跡②	試掘	個人住宅建築	H25.11.19	23.5	縄文、奈良、平安・散布地
	八戸城跡第31地点	試掘	店舗兼住宅建築	H25.11.26	32	近世・城館跡
	金浜中渡遺跡	試掘	範囲内容確認	H26.3.12~3.27	900	縄文、古代・散布地
	館平遺跡第25地点	本調査	個人住宅建築	H25.4.5~5.2	400	縄文、平安、中世・集落跡
	千石屋敷遺跡第6地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H25.4.23~4.25、 5.8~5.18	126	中世~近世・集落跡
	根城跡下町第7地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H25.7.9、7.12~7.31	118	中世・城館跡
館平遺跡第26地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H25.7.9、7.19~8.3	107	平安、中世~近世・集落跡	
田面木遺跡第45地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H25.8.1、8.29~9.5	50	奈良、平安・集落跡	
咽平遺跡第2地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H25.8.2、8.14~8.24	24.75	奈良・集落跡	
田面木遺跡第46地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H25.8.29、8.30、 10.17~10.26	80	奈良・集落跡	
林ノ前遺跡	本調査	自然崩壊	H25.9.12~10.31	1,348	縄文、平安・集落跡	
根城跡岡前館第57地点	確認	個人住宅建築	H25.4.3~4.13	40	中世・城館跡	
根城跡岡前館第58地点	確認	住宅解体及び樹木伐採・除根	H25.5.15~5.23	43.25	中世・城館跡	

	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積(m ²)	主な時代
受託事業	新井田古館遺跡第28地点	本調査	集合住宅建築	H25.4.18~6.15	2,035	中世・城館跡
	新井田古館遺跡第29地点	本調査	集合住宅建築	H25.7.2~8.9	290	中世~近世・城館跡
	狼走(2)遺跡	本調査	送電鉄塔建設	H25.8.31~9.13	345	縄文・弥生・散布地
	北熊ノ沢(2)遺跡	本調査	送電鉄塔建設	H25.9.17~10.11	304	縄文・平安・集落跡
	咽平遺跡第3地点	本調査	道路改良工事	H25.9.18~10.5	405	奈良・平安・集落跡
	館平遺跡第27地点	本調査	舗装工事	H25.11.7~11.21	206	平安・近世・集落跡
	八戸城跡	本調査	道路改良工事	H25.11.12~11.30	43	近世・城郭

(4) 是川遺跡出土品保存修理事業

内 容 漆製品・石製品・繊維製品 10 点の修理・台座製作
 期 間 平成 25 年 5 月 31 日～平成 26 年 3 月 25 日
 受 託 者 株式会社 芸匠(東京都)
 事業費 5,016 千円(補助対象額 5,000 千円の 50%国庫補助)
 概 要 平成 23 年、是川遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定された。この指定品の中には、木製品や漆塗り製品等があり、発掘調査後に保存処理が施されているが、欠損部分や脆弱な部分がある。また土器・石製品等には、石膏の充填や接合部の剥離等があり、公開活用をする上で美観が不十分なものもある。このため、出土品本来の姿を忠実に再現し、色彩も美観を損ねることがないように補修を行うとともに、脆弱な部分の強化と遺物にあわせた保存台を製作する。

事業計画 1 期 5 か年計画を基本として、全 2 期で出土品の保存修理及び保存台製作を実施する。
 第 1 期は平成 24 年～ 28 年度で実施する。



修理前の状況
(漆塗り鉢形木胎漆器)

樹脂の充填

完成

保存台

(5) 世界文化遺産登録へ向けた取り組み

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の 4 道県 14 市町による共同推進体制の一員として、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指している。当市では、是川石器時代遺跡・長七谷地貝塚の 2 つが構成資産となっており、直近の機会での推薦書提出、登録を目指し、推薦書案についての検討作業のほか、保存管理体制の検討を行っている。世界文化遺産登録には市民の理解が不可欠であるため、縄文遺跡群の内容を紹介したパネル展を行い、PR に努めている。



是川縄文館分館でのパネル展

【縄文遺跡群パネル展】

開催期間 ①平成 25 年 8 月 19 日(日)～平成 26 年 1 月 31 日(金) ②平成 26 年 2 月 3 日(月)～2 月 8 日(土)
 開催場所 ①是川縄文館分館(縄文学習館) ②イオン葛西店イベントスペース(東京都、パネル貸出し)
 概 要 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の概要説明、構成資産位置図、各構成資産の概要についての A 1 版パネルをパーティションに掲示した。

(6) 是川遺跡の整備活用

① 史跡追加指定

指 定 日 平成 25 年 10 月 17 日
 告 示 文部科学省告示第 147 号
 指定面積 160,631.71㎡ (一王寺(1)遺跡：157,365.71㎡ 堀田遺跡：3,266㎡)
 概 要 史跡是川石器時代遺跡（以下、是川遺跡）の近年の範囲確認調査により、是川遺跡を構成する遺跡のうち、一王寺(1)遺跡及び堀田遺跡の範囲と内容がほぼ確定したことから、遺跡保護の万全を図るため、史跡の追加指定への取り組みを進めてきた。平成 25 年 1 月に追加指定に係る意見具申書を文化庁へ提出し、6 月 21 日には国の文化審議会より文部科学大臣へ答申され、10 月 17 日に官報告示によって追加指定を受けるに至った。この追加指定によって変更となった史跡面積等については下記一覧表のとおりである。今後は、遺跡の保存管理計画を策定するための委員会を設置し、指導・助言を得ながら適切な保護・管理を実施するための計画を策定する。また、整備・活用については、整備指導委員会を設置し、指導・助言をふまえつつ、「是川縄文の里整備構想」に基づいた整備計画を策定していく予定である。

是川遺跡面積一覧表

	中居遺跡	一王寺(1)遺跡	堀田遺跡	是川遺跡(合計)
遺跡面積(㎡)	32,000	326,000	18,000	376,000
国史跡面積(㎡)	28,427	175,940	9,130	213,497
史跡/遺跡(%)	88.83	53.97	50.72	56.78

※国史跡面積は小数点繰上げ

② 是川縄文館草刈等委託

期 間 平成 25 年 5 月 31 日(金)～9 月 30 日(月)
 回数：4 回
 場 所 史跡是川石器時代遺跡・八戸市縄文学習館敷地内・
 是川遺跡記念碑 ※委託総面積：約 47,700㎡
 受託者 株式会社 昂造園建設
 事業費 2,604 千円
 概 要 遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を鑑み、6 月から 9 月にかけて実施した。



修繕作業の状況

③ 平成 25 年度縄文学習館複製竪穴住居修繕

期 間 平成 25 年 11 月 13 日(水)～平成 26 年 3 月 28 日(金)
 場 所 八戸市縄文学習館敷地内(2 棟のうち 1 棟)
 受託者 是川文化財愛護会
 事業費 1,994 千円
 概 要 複製竪穴住居 2 棟の設置から約 20 年が経過し、老朽化が顕著となった。そのため、平成 24 年度から 2 か年の計画で解体・再建築をともなう修繕を実施している。平成 25 年度は残りの 1 棟(長軸 4.10m × 短軸 3.62m)について修繕作業を実施した。修繕作業にあたり、縄文是川ボランティアからの協力があつた。

(7) 教育普及

○ ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
5月11日(土)	企画展「掘りdayはちのへ」展示解説	村木 淳・横山 寛剛(当館学芸員)	32 人
6月 9日(土)		船場 昌子・田中 美穂(当館学芸員)	26 人
合 計			58 人

○ 是川縄文館考古学講座 前期「石器からわかること」

月 日	内 容	講 師	参加者
5月26日(土)	石器からみる縄文社会	大工原 豊氏(國學院大學 講師)	52 人
6月 9日(土)	縄文時代の黒耀石鉱山に託された想い	大竹 幸恵氏 (黒耀石体験ミュージアム 学芸員)	44 人
6月23日(土)	縄文時代の石器の用途について -使用痕分析から何がわかるか-	高橋 哲氏(青森県埋蔵文化財調査 センター 文化財保護主事)	39 人
合 計			135 人

○ ボランティア養成講座(6月)

月 日	内 容	講 師	参加者
6月 1日(土)	史跡是川石器時代遺跡	小林 和彦(当館館長)	13 人
6月 8日(土)	縄文是川ボランティアについて	市川 健夫(当館学芸員)	20 人
6月15日(土)	是川縄文館常設展示解説①	市川 健夫(当館学芸員)	20 人
6月22日(土)	是川縄文館常設展示解説②	市川 健夫(当館学芸員)	17 人
6月25日(火)	縄文学習館・是川遺跡解説	市川 健夫(当館学芸員)	12 人
6月28日(金)	博物館研修「青森市」	市川 健夫(当館学芸員)	18 人
6月29日(土)	縄文土器野焼き実習	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	20 人
合 計			120 人

○ 中学生・高校生ボランティア養成講座

月 日	内 容	講 師	参加者
7月28日(日)	縄文是川ボランティアって何?	市川 健夫(当館学芸員)	1 人
8月 3日(土)	是川縄文館の常設展示室を学ぼう①	市川 健夫(当館学芸員)	1 人
8月 4日(日)	是川縄文館の常設展示室を学ぼう②	市川 健夫(当館学芸員)	1 人
8月10日(土)	縄文人のものづくりを体験してみよう①	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	1 人
8月11日(日)	縄文人のものづくりを体験してみよう②	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	1 人
合 計			5 人

○ 特別展考古学講座

月 日	内 容	講 師	参加者
8月24日(土)	安行文化のまつりと土器	上野 修一氏 (栃木県立博物館 学芸部長)	43 人
合 計			43 人

○ 縄文の布を編む講座

月 日	内 容	講 師	参加者
9月 7日(土)	解説「縄文の布について」 実習「縄文の布を編む」	縄文是川ボランティア	9 人
合 計			9 人

○ 縄文土器作り講座

月 日	内 容	講 師	参加者
10月12日(土)	素地土作り	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	12 人
10月19日(土)	縄文土器作り		12 人
12月 5日(木)	縄文土器野焼き		19 人
合 計			43 人

○ 企画展考古学講座

月 日	内 容	講 師	参加者
11月 9日(土)	縄文時代の津軽半島	福田 友之氏 (青森県史編さん専門委員)	45 人
合 計			45 人

○ 平成25年度遺跡発掘調査報告会

月 日	内 容	講 師	参加者
11月16日(土)	館平遺跡・新井田古館遺跡	横山 寛剛・杉山 陽亮(当館学芸員)	61 人
	野口貝塚	工藤 司 氏(三沢市教育委員会 主事)	
	千石屋敷遺跡	野村 信生 氏(青森県埋蔵文化財調査センター 文化財保護主幹)	
合 計			61 人

○ 是川縄文館考古学講座 後期「考古学・人類学研究最前線！」

月 日	内 容	講 師	参加者
12月 7日(土)	縄文時代はいつから？ -環境史から時代の移り変わりを探る-	工藤 雄一郎 氏(国立歴史民族博物館 考古研究系 准教授)	45 人
1月11日(土)	縄文時代前半期の 環境変動と集落生態系	辻 誠一郎 氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)	60 人
2月 8日(土)	われわれ日本人はどこからきたのか	篠田 謙一 氏(国立科学博物館 人類研究部 人類史研究グループ長)	90 人
3月22日(土)	動物と環境と人びとの暮らし	小林 和彦(当館館長)	76 人
合 計			271 人

○ ボランティア養成講座(1月-3月)

月 日	内 容	講 師	参加者
1月18日(土)	是川遺跡について	小林 和彦(当館館長)	20 人
1月25日(土)	縄文是川ボランティアについて	市川 健夫(当館学芸員)	18 人
2月 1日(土)	是川縄文館常設展示室解説①	市川 健夫(当館学芸員)	22 人
2月 8日(土)	是川縄文館常設展示室解説②	市川 健夫(当館学芸員)	18 人
2月15日(土)	縄文学習館・中居遺跡展示解説	市川 健夫(当館学芸員)	12 人
2月22日(土)	縄文土器作り実習	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	12 人
3月 1日(土)	世界文化遺産登録運動に占める ボランティアの役割	栗村 知弘 氏(八戸縄文保存協会会長)	19 人
3月 8日(土)	陶器作り実習①	後村 弘樹 氏(陶芸家)	6 人
3月15日(土)	陶器作り実習②	後村 弘樹 氏(陶芸家)	7 人
3月22日(土)	縄文土偶作り実習	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	11 人
3月28日(金)	博物館研修(八幡平市・二戸市・軽米町)	市川 健夫(当館学芸員)	25 人
3月29日(土)	英語セミナー	市川 健夫(当館学芸員) 八戸市総合教育センター外国語指導助手	7 人
合 計			177 人

○ 日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

月 日	内 容	参加者
夏季前期：4月 7日(日)～ 7月14日(日)	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り ・勾玉作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	282 人
夏季後期：8月25日(日)～10月27日(日)		123 人
冬 季：11月 3日(日)～ 3月30日(日)		259 人
合 計		664 人

○ 夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

月 日	内 容	参加者
7月20日(土)～8月17日(土)の土日	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り ・勾玉作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	259 人
合 計		259 人

○ これかわ縄文まつり体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

月 日	内 容	参加者
8月18日(日)	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	184 人
合 計		184 人

○ 土曜日体験教室

月 日	内 容	講 師	参 加 者
4月20日(土)	縄文の布を編む教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	9 人
5月11日(土)	シカの角でペンダント作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	19 人
6月15日(土)	縄文土器作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	15 人
7月 6日(土)	合掌土偶作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	16 人
9月21日(土)	シカの角で釣針作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	6 人
10月26日(土)	トチの実を食べる教室(於分館)	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	13 人
11月23日(土)	ドングリを食べる教室(於分館)	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	19 人
12月21日(土)	縄文土器の拓本教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	9 人
1月11日(土)	滑石でペンダント作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	15 人
2月22日(土)	縄文土器作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	8 人
3月15日(土)	縄文土偶作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	12 人
合 計			141 人

○ 学芸員による講座等

月 日	内 容	団体・場所	参加者
4月17日(水)	講話「ふるさとの縄文文化」	ふるさとの味倶楽部(於:是川縄文館)	15 人
5月15日(水)	講話「縄文時代の始まり -地球温暖化と新しい暮らし-」	ふるさとの味倶楽部(於:是川縄文館)	15 人
5月24日(金)	講話「八戸の歴史と縄文文化」(初任者研修)	八戸市総合教育センター(於:同センター)	16 人
5月30日(木)	講話「是川遺跡について」	八戸高等工業専門学校(於:是川縄文館)	19 人
6月19日(水)	講話「長七谷地貝塚 -魚介類を食べる食生活-」	ふるさとの味倶楽部(於:是川縄文館)	15 人
7月17日(水)	講話「畑内遺跡 -シカとイノシシ狩り-」	ふるさとの味倶楽部(於:是川縄文館)	16 人
8月21日(水)	講話「風張1遺跡 -定住と備蓄-」	ふるさとの味倶楽部(於:是川縄文館)	17 人
10月 9日(水)	講話「ボランティア養成講座」	八戸工業大学第二高等学校2学年(於:是川縄文館)	38 人
10月11日(金)	講話「縄文是川ボランティアについて」	三八教育事務所派遣社会教育主事合同研修(於:是川縄文館)	21 人
10月12日(土)	発表「八戸周辺の古墳時代から 飛鳥・奈良時代の遺跡」	国立歴史民俗博物館 第3回研究会(於:是川縄文館)	15 人
10月12日(土)	講演「合掌土偶について」	是川団地連合町内会(於:是川縄文館)	37 人
10月17日(木)	講話「縄文時代の津軽半島」	八戸自由大学(於:是川縄文館)	8 人
10月18日(金)	講話「是川縄文の里整備事業 -その経緯と現状-」	平成25年度三八地区文化財保護研究集会(於:是川縄文館)	43 人
10月24日(木)	講話「八戸の縄文文化」	八戸ポータルミュージアムはっちボランティア研修 (於:是川縄文館)	18 人
11月20日(水)	講話「八戸の弥生 -お米を食べた?-」	ふるさとの味倶楽部(於:是川縄文館)	14 人
11月23日(土)	座談会「縄文について」	はっち市「縄文・アイヌ クロスオーバートーク」 (於:八戸ポータルミュージアムはっち)	50 人
12月 1日(土)	発表「是川石器時代遺跡」 発表「長七谷地貝塚」	『縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム』 (於:五所川原市ELMの街) ※主催:縄文遺跡群世界遺産登録推進本部	30 人
12月14日(土)	講演「八戸における縄文集落変遷」	公開講座「『八戸の集落一万年』-なぜムラができ、消えたか?- Vol.1」(於:八戸市総合福祉会館)※主催:東北芸術工科大学	97 人
3月15日(土)	発表「是川中居遺跡の晩期土偶」	第11回土偶研究会 八戸大会(於:是川縄文館) ※主催:土偶研究会	30 人
3月24日(月)	発表「是川縄文館の里から「学ぶ」ことの喜び、 「生きる」ことの尊さを知る -縄文人のたちの 知恵・技・祈りを体感する-」	平成25年度教育旅行メニュー成果報告会 (於:青森県観光物産館アスパム) ※主催:(公社)青森県観光連盟	60 人
合 計			574 人

○ ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体に来館者のうち、実際の体験参加者数を記載する。

月日	内 容	団体名	参加者	月日	内 容	団体名	参加者
4月3日	縄文土器作り	個人	2人	9月6日	ペンダント作り	是川小学校1年	46人
4月23日	縄文土器作り	階上町立赤保内小学校6年	46人	9月11日	縄文土器作り	むつ市立関根中学校1・2年	24人
5月1日	縄文土器作り	五戸町立倉石小学校6年	23人	9月14日	滑石の勾玉作り	みどりのかぜ児童クラブ	18人
5月2日	ペンダント作り	白山台小学校6年	147人	9月18日	縄文土器作り	是川小学校5年	44人
〃	縄文土器作り	吹上小学校6年	110人	〃	縄文土器作り	是川東小学校3・4・5年	5人
5月9日	滑石の勾玉作り	五戸町立姥川小学校6年	8人	9月20日	滑石の勾玉作り	六ヶ所村立尾駈小学校4年	36人
5月10日	縄文土器作り	旭ヶ丘小学校6年	88人	9月26日	縄文土器作り	是川小学校4年	40人
5月14日	縄文土器作り	中居林小学校6年	69人	9月27日	滑石の勾玉作り	八戸第一養護学校小学部6年	3人
5月24日	ミニ合掌土偶作り	総合教育センター初任者研修 (於:総合教育センター)	16人	10月3日	縄文土偶作り	三沢市ソラーズ小学校6年	31人
5月28日	火起こし	南部町立杉沢小学校6年	12人	〃	縄文土器作り	階上町立石ノ鉢小学校6年	37人
5月30日	滑石の勾玉作り	おいらせ町立百石小学校6年	60人	10月7日	縄文土偶作り	是川小学校6年	32人
〃	縄文土器作り	新郷村立戸来小学校6年	16人	10月10日	縄文土偶作り	三沢市ソラーズ小学校6年	37人
5月31日	滑石の勾玉作り 火起こし	総合教育センターうみねこ教室	17人	10月11日	滑石の勾玉作り	青森県立三戸高等学校1年	63人
6月3日	縄文土器作り	鮫小学校3年 親子レク(於:鮫小学校)	96人	10月17日	縄文土偶作り	三沢市ソラーズ小学校6年	27人
6月4日	合掌土偶作り	南部町立剣吉小学校6年	37人	10月24日	縄文土器作り	NPO法人あゆみの会すまいる工房	25人
6月6日	縄文土器作り	白銀南中学校1年	129人	10月31日	ペンダント作り	城下小学校6年親子レク	78人
6月8日	縄文土器作り	おいらせ町立下田小学校4年 親子レク	15人	11月1日	ペンダント作り	階上町立道仏小学校6年	13人
6月11日	縄文土器作り	手話サークルこすもす	11人	11月6日	滑石・琥珀勾玉作り	個人	3人
7月1日	ペンダント作り	八戸第二養護学校中等部1・2年	12人	11月13日	縄文土器野焼き	是川中学校	251人
7月9日	縄文土器作り	八戸第二養護学校PTA	11人	11月14日	縄文土器作り	是川小学校3年	29人
7月10日	縄文土器作り	南部町立杉沢中学校1年	11人	11月15日	縄文土器作り	五戸町立上市川小学校6年	16人
〃	合掌土偶作り	南部町立杉沢中学校2・3年	27人	11月19日	縄文土器作り	多賀台小学校6年親子レク (於:多賀台小学校)	53人
7月15日	滑石の勾玉作り	個人	2人	11月26日	滑石の勾玉作り	町畑小学校5年	6人
7月17日	縄文土器作り 火起こし	種差小学校6年	20人	12月3日	縄文土器作り	老人クラブ連合会	16人
〃	縄文土器作り	生長の会	6人	12月4日	ペンダント作り	三沢市ソラーズ小学校2年 親子レク	89人
7月31日	縄文土偶作り	ちょうじゃの森在宅介護支援センター (於:大杉平町内集会所)	16人	12月7日	琥珀・滑石勾玉作り	個人	3人
8月2日	合掌土偶作り	中野小学校教職員	6人	1月9日	縄文土偶作り	八戸市老人クラブ連合会	16人
8月6日	縄文土器作り	鳥守小学校6年	20人	1月10日	琥珀の勾玉作り	個人	2人
〃	琥珀の勾玉作り	個人	2人	1月22日	縄文土器作り	鷗盟大学38-3会	5人
8月8日	琥珀の勾玉作り	東北中学校PTA研修委員会	17人	1月25日	火起こし 滑石の勾玉作り	ソーシャルファームエッグス	7人
8月13日	滑石の勾玉作り	エンゼルハウス	7人	1月31日	縄文土偶作り	鷗盟大学3期会	13人
8月15日	滑石の勾玉作り	個人	4人	2月11日	火起こし 拓本作り	ソーシャルファームエッグス	11人
8月20日	滑石の勾玉作り	個人	8人	2月16日	えんぶり火起こし	中居林小学校6年(於:八戸市庁)	3人
8月23日	縄文土器作り	野辺地町教育委員会	13人	3月11日	ペンダント作り	三沢市ソラーズ小学校1年	36人
8月28日	板状土偶作り	是川小学校2年	38人	3月12日	ペンダント作り	三沢市ソラーズ小学校1年	40人
〃	板状土偶作り	是川東小学校1・2年	4人	3月14日	ペンダント作り	三沢市ソラーズ小学校1年	40人
総 計							2,314人

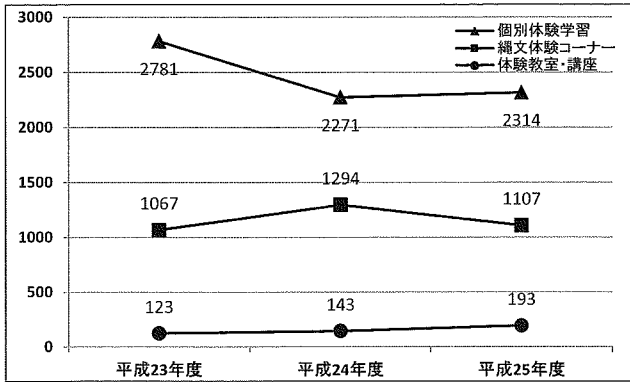
(8) 地域連携

【八戸北高等学校スーパーサイエンスハイスクール】

八戸北高等学校は、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されており、地学班では平成23年度に「河川堆積物を利用した土器の産地推定」、平成24年度からは「八戸市牛ヶ沢(4)遺跡から産出した縄文土器の胎土分析」に取り組んでいる。是川縄文館では、継続して資料提供・助言等の連携を行っており、平成25年度は胎土分析サンプルとなる縄文土器破片27点を提供した。

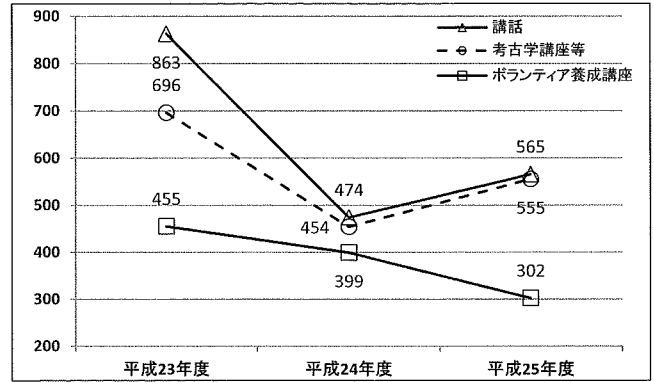
過去3年間の体験学習の利用者数推移

※平成23年度縄文体験コーナーは7月から開始。



過去3年間の講演会等の利用者数推移

※平成23年度は開館記念講演会等が含まれる。



(9) 資料収蔵

是川縄文館では、遺跡出土品及び関連図書の収集及び収蔵を継続的に実施している。

遺跡出土品については、平成25年度遺跡発掘調査において出土し整理作業が終了した出土品861点（遺物収納箱44箱）、個人寄贈品45箱を新たに収蔵した。収蔵状況は特別収蔵庫：約700点（国指定重要文化財、木製品・金属製品等）・一般収蔵庫：約2,470箱（土器・石器・土製品等）である。

また、当館では収蔵資料管理の体系化を目的とし、収蔵品等の再整理・再収納及びデータベース化を行っており、平成25年度は泉山コレクション（是川遺跡）を中心とする24遺跡の出土品（遺物収納箱243箱）を対象として作業を実施した。

図書については、考古学分野を中心に約45,000冊を収蔵している。図書は書庫に収蔵するほか、閲覧コーナーにおいて一般開放している。平成25年度は800冊（寄贈766、購入34）を新たに追加した。



一般収蔵庫

(10) 調査研究

【共同研究】

八戸地域では、縄文遺跡を営んだ集団が周辺の自然環境とどのように関わり、適応していったのか、環境史的な視点からの調査研究が進んでいないという問題がある。これに対し、当地域の環境変動と人間活動の関わりを研究テーマとして考えていた東京大学大学院環境史研究室と平成23年度から3か年計画の共同研究を開始した。

・共同研究テーマ 『古八戸湾変遷と集落生態系の復原』

・研究期間 2013年4月～2014年3月

(2011年～2013年度の3か年計画の3年目)

・研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 環境史研究室（代表 辻 誠一郎 教授）

・研究活動

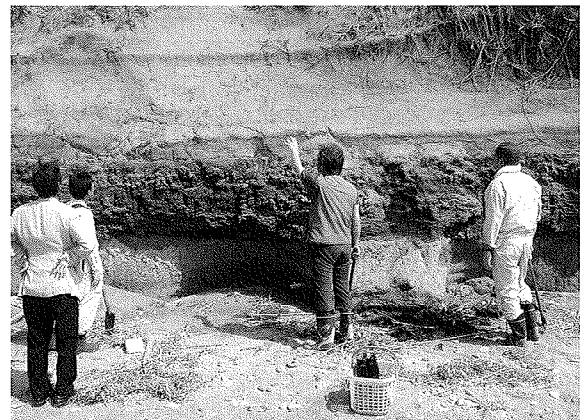
① 2013年5月31日～6月4日 第1回研究会、新井田川周辺の地質調査用ボーリング・コアの実見、分析資料採取（於八戸市消防本部・八戸市立柏崎小学校）

② 2014年1月12日 第2回研究会（研究結果報告、今後の研究・展示の打合せ等）

③ 2014年3月7日 第3回研究会（3年目の総括、次年度の打合せ等）

・関連活動

・是川縄文館考古学講座 「縄文時代前半期の環境変動と集落生態系」（辻 誠一郎 氏、2014年1月11日）



火山灰露頭の調査

・是川縄文館「研究紀要」第3号「十和田二の倉火山灰の放射性炭素年代とその意義」

「八戸・上北地域における縄文時代早期土器群の¹⁴C年代測定と炭素・窒素安定同位体比」(2014年3月28日)

・今後の活動

3年間の共同研究成果の総括は、研究紀要第4号に掲載予定。また研究成果は、2014年度秋季企画展『海と火山と縄文人』において市民に広く公開する。

【東北芸術工科大学 研究プロジェクト事業協力】

八戸地域等をフィールドに、土地利用等の利活用形態や地域文化の継承といった集落の動態解明を目的として、考古学、歴史学、民俗学・人類学などの分野から研究が進められている。考古班では、八戸地域の集落一万年の動態解明のため、遺跡データベース構築等の研究活動を展開しており、当館では資料提供や集落研究について協力を行った。

・研究事業テーマ 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究」

・研究期間 2012年4月～2017年3月

・研究体制 東北芸術工科大学 東北文化研究センター (代表 田口 洋美 所長)

(考古班) 東北文化研究センター 安斎 正人 教授

東北芸術工科大学 北野 博司 准教授・長井 謙治 専任講師

東京大学大学院 佐藤 宏之 教授・福田 正宏 准教授

・協力活動

【打ち合わせ等】

① 2013年5月23日～5月24日、② 7月14日、③ 8月2日、④ 11月7日～11月8日、⑤ 12月5日、⑥ 12月15日

【講座開催協力】

2013年12月14日 『公開講座 八戸の集落1万年 Vol.1 -なぜムラができ、消えたか? -』於八戸市総合福祉会館

講演「八戸における縄文集落変遷」(村木 淳 当館副参事)

【第11回土偶研究会 共催】

土偶研究会より当館との共催で研究会を開催したいとの依頼があり、会場を提供し、当館学芸員が研究発表を行った。

・日時 2014年3月15日～3月16日

・内容 第11回土偶研究会 八戸市大会「土偶未来環境」(主催:土偶研究会) 研究発表8件、討論ほか

・会場 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 2F 企画展示室

・発表 「是川中居遺跡の晩期土偶」(小久保 拓也 当館主査兼学芸員)

【学芸員の研究業績 平成25年4月～平成26年3月 ※年報第2号未掲載論文(平成25年3月)を含める】

【論文等】

平成25年3月

杉山陽亮 「組み合わせ式ヤス考 -東北地方縄文時代後・晩期の漁撈活動の一考察-」『動物考古学』30 動物考古学研究会

平成25年11月

市川健夫 「石刀・石棒」『季刊考古学』125 雄山閣

平成26年3月

市川健夫 「長畑遺跡出土土器の評価とその意義」『完新世の気候変動と縄紋文化の変化』平成22年度-平成25年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書(研究代表者:安斎正人)

市川健夫 「風張1遺跡・中居遺跡出土の土器付着赤色顔料の成分分析と同位体分析」『研究紀要』3 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館(連名)

宇部則保 「八戸・上北地域における縄文時代早期土器群の¹⁴C年代測定と炭素・窒素安定同位体比」同上(連名)

杉山陽亮 「八戸・上北地域における縄文時代早期土器群の¹⁴C年代測定と炭素・窒素安定同位体比」同上(連名)

船場昌子 「八戸城跡で検出された便所遺構について」同上(連名)

村木 淳 「八戸・上北地域における縄文時代早期土器群の¹⁴C年代測定と炭素・窒素安定同位体比」同上(連名)

小久保拓也 「是川中居遺跡の晩期土偶」『第11回土偶研究会 八戸市大会資料』土偶研究会

小林和彦 「【講演録】八戸の集落1万年：なぜムラができ、消えたか？ Vol.1」『文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究 平成25年度研究成果報告書』東北芸術工科大学東北文化研究センター（連名）

【学会発表等】

平成25年10月

宇部則保 「八戸周辺の古墳時代から飛鳥・奈良時代の遺跡」『2013年度歴博第3回研究会』

平成25年12月

村木 淳 「八戸における縄文集落変遷」『東北芸術工科大学公開講座 八戸の集落1万年 Vol.1 - なぜムラができ、消えたか？ -』

平成26年3月

小久保拓也 「是川中居遺跡の晩期土偶」『第11回土偶研究会 八戸市大会』

【研究助成】

平成25年4月～平成26年3月

宇部則保 「古代末期の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた、北東北世界の実証的研究」『明治大学大久保忠和考古学振興基金 奨励研究』（研究分担者 ※研究代表者：船木義勝）

田中美穂 「古代末期の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた、北東北世界の実証的研究」同上

(11) 情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

① ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信として、ホスティングサーバー上にホームページを開設している。各職員によるコンテンツ更新が簡便にできるよう、CMSを使用し、管理を外部委託している。1日あたりの平均訪問者数は173.4人（平成25年4月～平成26年3月まで）であり、前年比の1.24倍と増加している。

8月より英語版ホームページを公開したほか、平成24年度に八戸ケーブルテレビで放送された「縄文はっけん！是川縄文館」の動画について、動画公開サイト（Youtube）を利用して1月より公開し、コンテンツの充実を図った。

② 広報はちのへ「いのるん通信」

是川縄文館の体験学習や発掘調査等の活動について、参加者にインタビューし、内容を紹介する。市広報において隔月連載（5・7・9・11・1・3月号）。97,800部発行。

③ 広告掲載

特別展及び秋季企画展開催を周知するため、地元新聞等に広告を掲載した。

・特別展開催案内広告「みみずく土偶と縄文人」

デーリー東北新聞社（7/18,19,31朝刊）

東奥日報社, 岩手日報社, 秋田魁新報社（7/19朝刊）

情報羅針盤コンパス（7/4発行）

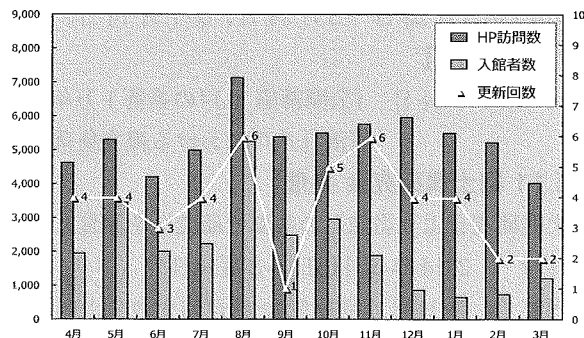
・企画展開催案内広告「縄文時代の津軽半島」

デーリー東北新聞社（10/18朝刊）、東奥日報社（10/5朝刊）

④ 新聞連載記事「掘りdayはちのへ」

平成25年度春季企画展をテーマとした記事を職員が作成し、開催期間に合わせ、デーリー東北に4回掲載した。

（4/27, 5/13, 6/5, 6/19）



年月	HP訪問数	入館者数	更新回数	平均(日)	英語版HP
4月	4,644	1,958	4	154.8	-
5月	5,311	3,465	4	171.3	-
6月	4,219	2,008	3	140.6	-
7月	5,007	2,248	4	161.5	-
8月	7,164	5,277	6	231.1	87
9月	5,409	2,498	1	180.3	40
10月	5,517	2,964	5	178.0	19
11月	5,788	1,886	6	192.9	29
12月	5,986	846	4	193.1	41
1月	5,526	658	4	178.3	42
2月	5,233	725	2	168.8	26
3月	4,034	1,207	2	130.1	32
合計	63,838	25,740	45	173.4	316

ホームページ訪問者数と更新回数

⑤ BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した（3ヶ月に1度）。

⑥ 図録等刊行

是川縄文館パンフレット（日本語版・英語版）や研究紀要のほか、企画展示について下記の図録を刊行した。図録については、館内ミュージアムショップで頒布している。

- ・「掘りdayはちのへ -八戸市埋蔵文化財ニュース-」16号
A4版 カラー 8ページ
- ・平成25年度特別展図録「みみずく土偶と縄文人」
A4版 カラー 87ページ
- ・平成25年度秋季企画展図録「縄文時代の津軽半島」
A4版 カラー 47ページ
- ・開館記念特別展図録「縄文至宝展」A4版 カラー（増刷）
- ・「縄文の美 第2集」A4版 カラー（増刷）
- ・「研究紀要 第3号」A4版 モノクロ 32ページ

⑦ 遺跡調査報告会

平成25年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。1階体験交流室を報告会場、2階研修室を出土品展示会場とし、県内外から61名の参加があった。

【開催日時】 平成25年11月17日(土) 13:00～

⑧ 教育旅行プログラム

青森県内の教育旅行（修学旅行）受入の拡充等を図るため、(公社)青森県観光連盟・青森県観光交流推進課・八戸市観光コンベンション協会・八戸市観光課・(株)マインドシェア・縄文是川ボランティアが連携して、是川縄文館及び是川遺跡を活用した教育旅行プログラム策定を行った。その成果は、「是川縄文の里から「学ぶ」ことの喜び、「生きる」ことの尊さを知る」として、(公社)青森県観光連盟主催の教育旅行メニュー成果報告会で発表した。

【開催日時】 平成26年3月24日(月) 15:30～

(12) ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

① ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリ、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展の図録等も販売している。

【商品一例】 ポストカード、マグカップ、キーホルダー、記念切手シート、ストラップ、Tシャツ、土偶・土器等レプリカ、お菓子（クッキー、人形焼、せんべい等）、考古学関連書籍等。

② 喫茶コーナー

古代米を使用した「縄文カレー」や、縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、クルミ、ナッツ、ドングリを合わせた「縄文ソフトクリーム」等を提供している。

「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。



いのるん通信（広報はちのへ）



是川縄文館パンフレット



遺跡調査報告会（出土品展示会場）



ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

Ⅱ. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館（八戸市縄文学習館）

1. 沿革

八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成6年（1994）に開館した。平成23年（2011）5月に一時休館し、展示リニューアルをへて、同年7月10日に改めて開館した。なお平成23年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

- 昭和32年（1957）：「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和36年（1961）：泉山岩次郎氏、斐次郎氏ご兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和37年（1962）：寄贈品のうち、中居遺跡出土品633点が重要文化財に指定。
- 昭和38年（1963）：「考古館」完成（9月30日）。
- 昭和49年（1974）：「歴史民俗資料館」完成（3月30日）。
- 昭和50年（1975）：「歴史民俗資料館」開館（5月10日）。
- 平成5年（1993）：3月 「縄文学習館」基本設計完成。 4月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5月 建築予定地発掘調査実施（8月終了）・地質調査完了。 6月 映像展示ソフト製作委託実施。
7月 建築実施設計完成。 8月 展示実施設計完成。
- 平成6年（1994）：3月 建築・設備・展示各工事完成。
6月 「縄文学習館」開館（6月24日、八戸市博物館分館）。
- 平成7年（1995）：是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2月22日）。
- 平成16年（2004）：史跡追加指定。
- 平成23年（2011）：4月 機構改革により、「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
7月 縄文学習館展示リニューアルオープン（7月10日）

2. 施設概要

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館）
- 住所：青森県八戸市大字是川字中居3-1

(2) 施設の概要

- 構造：1階・2階鉄筋コンクリート造
- 敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)武田菱設計事務所 ○建築工事：(株)大入建設
- 展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発(株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：519.940㎡ 2階：103.880㎡

階	室名	面積	階	室名	面積	階	室名	面積
1F	事務室	29.975㎡	1F	常設展示室	118.673㎡	2F	資料整理室	34.504㎡
	情報資料室	29.635㎡		体験学習室	80.750㎡		収蔵庫	46.216㎡

- 駐車場：普通車8台 ○トイレ：1箇所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

- 基本・実施設計：11,845千円 ○外構工事等：5,789千円 ○本棟工事等：241,665千円
- 展示工事・映像資料製作：68,644千円 ○その他：13,728千円

(5) 展示改修等事業費

- 事業費：8,810千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発(株)

3. 事業概要

(1) 常設展示①（常設展示室）

是川縄文館分館の常設展示では、是川遺跡の学史的背景や概要について紹介するとともに、埋蔵文化財センターの役割について解説しており、本館常設展示へのプロローグとなっている。



常設展示室

I 是川遺跡と泉山兄弟

是川遺跡の発掘と保存に大きな功績を残した泉山岩次郎、斐次郎ご兄弟を顕彰し、泉山ご兄弟による是川遺跡発掘の歴史や、考古学研究者たちとの関わり等について紹介する。

II 是川遺跡

是川遺跡を構成する一王寺遺跡（縄文時代前期～中期）、堀田遺跡（縄文時代中期）、中居遺跡（縄文時代晩期）について概要を紹介する。また各遺跡の日本考古学史に残る貴重な発見について解説している。

III 是川遺跡の環境

中居遺跡の花粉分析の成果をもとに、縄文時代晩期の頃の環境について紹介する。また屋外に植栽した縄文時代の植物を散策してもらうよう、植物の種類・地点を図表で示しており、フィールドミュージアムの要素を盛り込んでいる。

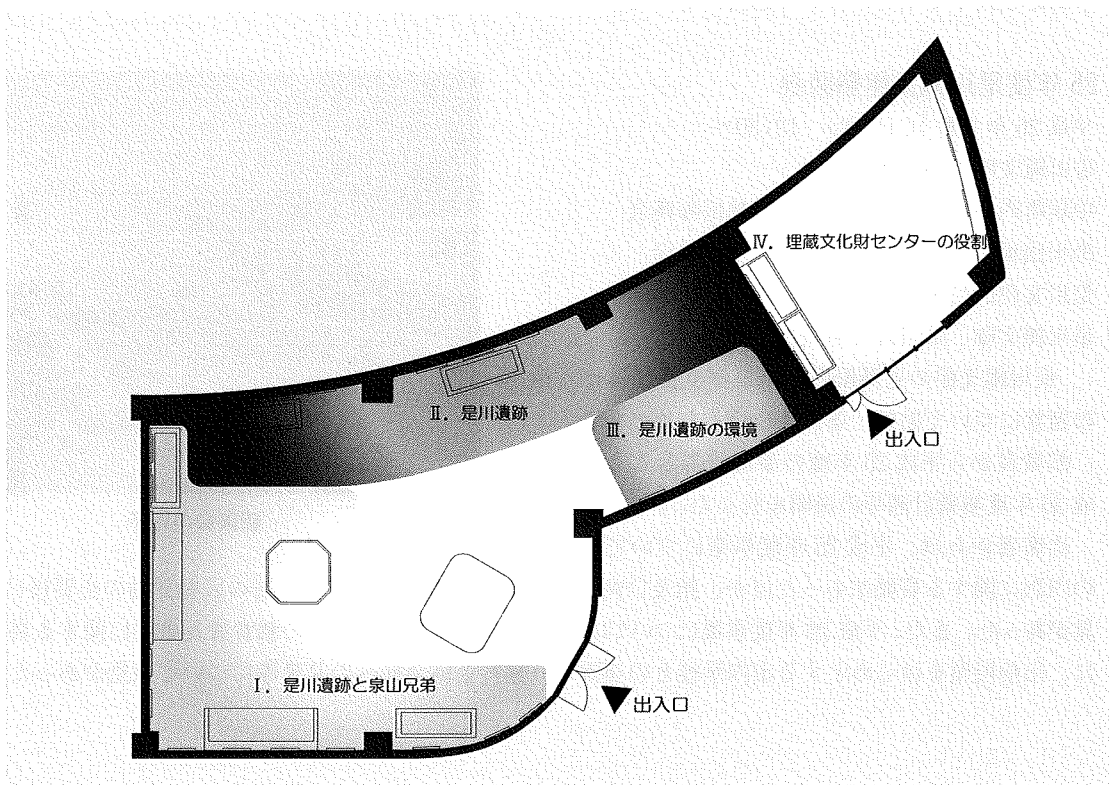
(2) 常設展示②（情報資料室）

IV 埋蔵文化財センターの役割

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の機能・役割について紹介する。展示は「埋蔵文化財の保護」、「発掘調査」、「整理作業」、「発掘調査報告書の作成」、「埋蔵文化財の活用と普及」の5項目で構成し、埋蔵文化財保護意識の啓発に努める。また、これまで作成・刊行した八戸市内の遺跡の発掘調査報告書を設置し、閲覧できるようになっている。



情報資料室



展示構成

Ⅲ. 管理運営概要

1. 協議会

(1) 平成 25 年度是川縄文館運営協議会

期 日 【第 1 回】平成 25 年 6 月 26 日(水) 13:30～
【第 2 回】平成 26 年 2 月 6 日(木) 13:30～

会 場 是川縄文館 1F 会議室

委 員 岡村 道雄 委員(会長) 石川 宏之 委員(副会長)
島守 正典 委員 高田 和徳 委員 福田 友之 委員
山内 均 委員 山下 治子 委員

概 要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・広報活動等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。各回とも岡村会長による議事進行で協議が行われた。

平成 25 年度第 1 回目は、事務局からは是川縄文館の平成 24 年度の総括的な事業報告とともに、平成 25 年度事業計画等の説明を行った。委員からは、平成 24 年度における世界文化遺産登録に向けた取り組みや、広報活動、地域連携、展示・体験学習をはじめとする教育普及事業の実績等に関して、平成 25 年度事業では、共同研究事業やボランティア養成講座、特別展・秋季企画展示に関する内容に関してそれぞれ質疑があった。また、より市民に開けた是川縄文館のイメージ作り等についての助言があった。

第 2 回目では、事務局から平成 25 年度の事業報告とともに、平成 26 年度事業計画等の説明を行った。委員からは、平成 25 年度における教育普及事業の実績等について、また平成 26 年度では、とくに特別展・秋季企画展に関する内容について質疑があった。また平成 25 年度から実施している是川縄文館アンケートの集計結果に関する事、及び館常設展示の目玉である国宝「合掌土偶」の長期貸し出し時における来館者への対応に関する事について助言があった。



運営協議会の様子

(2) 平成 25 年度是川縄文館懇談会

期 日 平成 26 年 2 月 14 日(金) 13:30～

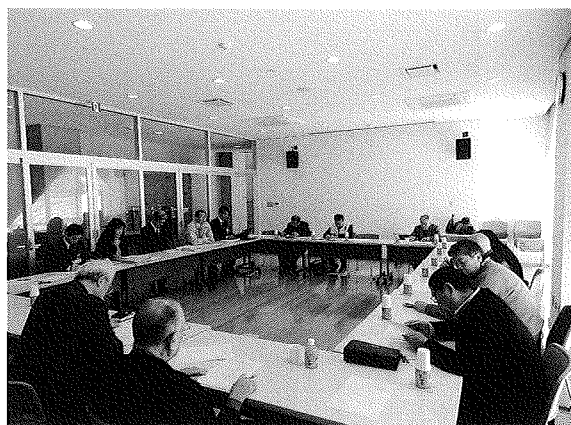
会 場 是川縄文館 2F 研修室

出席者 中居町内会 田中町内会 是川地区振興会
是川団地町内連合会 八戸縄文保存協会
是川文化財愛護会 縄文是川ボランティア
是川縄文隊 是川縄文館職員

概 要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営について助言・連携等を得るための会合。

館職員から平成 25 年度の事業報告とともに、平成 26 年度事業計画等の説明を行った。

出席者からは、平成 25 年度事業について入館者の内訳に関する質疑があったほか、館及び関連団体による市民へのより一層の広報活動の必要性について意見があった。また、平成 26 年度事業については、ボランティア養成講座等の教育普及事業に関する質疑とともに、出前授業をはじめとする市内学校との連携や、旅行企画会社への PR 等について意見があった。



懇談会の様子

2. 日記抄

年/月/日	事項	年/月/日	事項
H25/4/1	見学:ナーシングホームオーリーブデイクア(13人)	6/4	合掌土偶作り・見学:南部町立剣吉小学校6年(39人)
4/2	見学:ナーシングホームオーリーブデイクア(10人)		見学:五戸町文化協会(4人)
4/3	見学:ナーシングホームオーリーブデイクア(19人)	6/6	縄文土器作り・見学:白銀南中学校1年(135人)
4/4	見学:ナーシングホームオーリーブデイクア(14人)	6/7	見学:青森県議会文教公安委員会(15人)
4/5	縄文土器作り個人(2人) 見学:東北曳船協会(13人)/ 八戸市新採用研修(51人)/ナーシングホームオーリーブデイクア(13人)	6/8	ボランティア養成講座②(20人) 講師:(当館学芸員)
4/6	縄文土器野焼き分館(17人)		企画展「掘りdayはちのへ」ギャラリートーク(26人)
4/7	見学:東京都市大学(2人)		縄文土器作り・見学:おいらせ町立下田小学校4年(30人)
4/9	見学:ナーシングホームオーリーブデイクア(11人)	6/11	縄文土器作り・見学:手話サークルこすもす(17人)
4/10	見学:ナーシングホームオーリーブデイクア(16人)		視察:北東北三県観光立県推進協議会(10人)
4/11	見学:ナーシングホームオーリーブデイクア(10人)	6/13	見学:第一養護学校中等部(15人)
4/12	取材:エム・ケイ・ツー(5人)	6/14	取材:聖教新聞(3人) 視察:神奈川県水道企業団(3人)
4/14	取材:東奥日報社東京支社(2人)	6/15	縄文土器作り教室(兼ボランティア学習会①)(15人) 講師:縄文是川ボランティア ティア ボランティア養成講座③(20人) 講師:(当館学芸員)
4/16	見学:白山台小学校6年教職員(4人)		視察:北海道立埋蔵文化財センター(2人)/東北芸術工科大学(5人)
4/19	見学:南部町立福地小学校6年(17人)	6/16	見学:三八五交通(6人)
4/20	縄文の布を繙む教室(9人)	6/18	見学:マリアンハウス幼稚園(52人)
4/23	縄文土器作り・見学:階上町立赤保内小学校6年(48人)	6/19	見学:五戸町文化協会(21人)/クラブツーリズム(27人)
	見学:岩手県営交通「知られざる東北」(33人)	6/20	見学:上十三支部退職公務員野辺地分会(16人)/ 第一養護学校高等部(4人)
	取材:北海道新聞函館報道部(1人)	6/21	ボランティア学習会②(14人) 講師:縄文是川ボランティア
4/24	見学:日計いきいきサロン(31人)	6/22	考古学講座②(44人) 講師:大竹幸恵氏
4/25	縄文是川ボランティア激励セレモニー		ボランティア養成講座④(17人) 講師:当館学芸員
4/26	見学:かつこうの森(25人)/(兼)三沢奥入瀬観光(6人)	6/23	見学:函館商工会議所青年部(14人)
	企画展「掘りdayはちのへ」内覧会:報道関係・ボランティアガイド(17人)	6/25	ボランティア養成講座⑤(12人) 講師:当館学芸員
4/27	企画展「掘りdayはちのへ」開催(～6/23)		火起こし・見学:東北町保険協力員協議会(77人)
4/30	見学:梅イニシオ(8人)/個人(8人)/個人(3人)	6/28	ボランティア養成講座⑥(18人) 引率:当館学芸員 於青森市 見学:久慈市立小袖小学校5・6年(14人)
5/1	縄文土器作り・見学:五戸町立倉石小学校6年(25人)	6/29	ボランティア養成講座⑦(20人) 講師:当館学芸員 於分館
	見学:市野沢小学校6年(21人)	6/30	見学:山形県うきたむ風土記の丘資料館(21人)/さくら団地婦人会(13人)
5/2	ペンダント作り・見学:白山台小学校6年(152人)	7/1	耳飾り作り・見学:第二養護学校中等部1・2年(19人)
	縄文土器作り・見学:吹上小学校6年(114人)	7/3	見学:クラブツーリズム「歴史への旅」(29人)/八戸高校PTA研修旅行(26人)
	見学:おいらせ町立甲洋小学校6年(27人)/(兼)三沢奥入瀬観光(2人)	7/5	ボランティア学習会③(12人) 講師:縄文是川ボランティア
5/3	最新研究報告展示解説研修:縄文是川ボランティア(16人)		視察:日本文化財科学会エクスカーション(14人)
5/8	見学:第二養護学校(1人)	7/6	合掌土偶作り教室(兼ボランティア学習会④)(16人) 講師:ボランティア 考古学講座③(39人) 講師:高橋哲氏
5/9	滑石の勾玉作り・見学:五戸町立蛸川小学校6年(10人)	7/7	見学:東和交通観光(28人)
5/10	縄文土器作り・見学:旭ヶ丘小学校6年(91人)	7/9	縄文土器作り・見学:第二養護学校PTA(11人)
	見学:根城中学校1年(152人)/(兼)三沢奥入瀬観光(4人)		見学:さわやかクラブ(35人)/田子町松寿老人クラブ(7人)
5/11	シカの角でペンダント作り教室(19人)		視察:(公財)元興寺文化財研究所(5人)
	企画展「掘りdayはちのへ」ギャラリートーク(32人)	7/10	縄文土器作り・見学:杉沢中学校1年(11人)
5/14	縄文土器作り・見学:中居林小学校6年(71人)		合掌土偶作り・見学:杉沢中学校2・3年(27人) 見学:防衛大学校(50人)
5/15	縄文土器野焼き分館(11人)	7/11	見学:三八五観光株式会社(15人)/(兼)日本旅行(27人)
5/16	見学:東奥日報旅行センター(13人)/デイサービスセンターなごむ(42人)/ (兼)三沢奥入瀬観光(7人)	7/13	ボランティア学習会⑤(11人) 講師:縄文是川ボランティア
5/18	考古学講座①(52人) 講師:大工原豊氏	7/15	滑石の勾玉作り:個人(2人) 見学:北の縄文道民会議(20人)
5/21	視察:「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会(2人)	7/17	縄文土器作り・見学:種差小学校6年(20人)/生長の家(6人)
5/22	取材:岩手日報(1人)		見学:中居林小学校6年(2人)
	視察:青森県観光連盟(4人)/群馬県前橋市議会(13人)	7/18	見学:プラスの会(31人)/青森県立三沢高校3年(34人)
5/23	縄文土器野焼き分館(19人) 見学:わかう会(36人)	7/19	特別展内覧会(マスコミボランティア)(19人)
5/24	合掌土偶作り 講話:八戸市総合教育センター初任者研修(16人) 講師:館長 於総合教育センター 見学:江戸千家(5人)	7/20	特別展「みみずく土偶と縄文人」開催(～9/2)
5/26	撮影:特定医療法人清和会(3人)		見学:弘前工業高校PTA(28人) 取材:函南小学校6年(2人)
5/28	火起こし・見学:南部町立杉沢小学校6年(12人)	7/21	取材:(兼)ビーエフエム(1人)
5/30	滑石の勾玉作り・見学:おいらせ町立百石小学校6年(63人)	7/23	見学:鶴盟大学38の3会(10人)
	縄文土器作り・見学:新郷村立戸来小学校6年(17人)	7/24	見学:下北小中学校社会科教育研究会(8人)/南山苑(6人)
	見学:こだまの園(9人)		視察:青森県都市計画課(5人)
5/31	滑石の勾玉作り・火起こし・見学:総合教育センターうみねこ教室(17人)	7/25	見学:埼玉県川口市議会(3人)/葛巻福祉大学(16人)
6/1	ボランティア養成講座①(13人) 講師:館長	7/28	中学生・高校生ボランティア養成講座①(1人) 講師:当館学芸員
6/2	見学:太山谷宮農組合(29人)	7/30	見学:みどり幼稚園(6人) 縄文土器野焼き(18人)
6/3	縄文土器作り:小学校3年親子レク(107人)於学校		

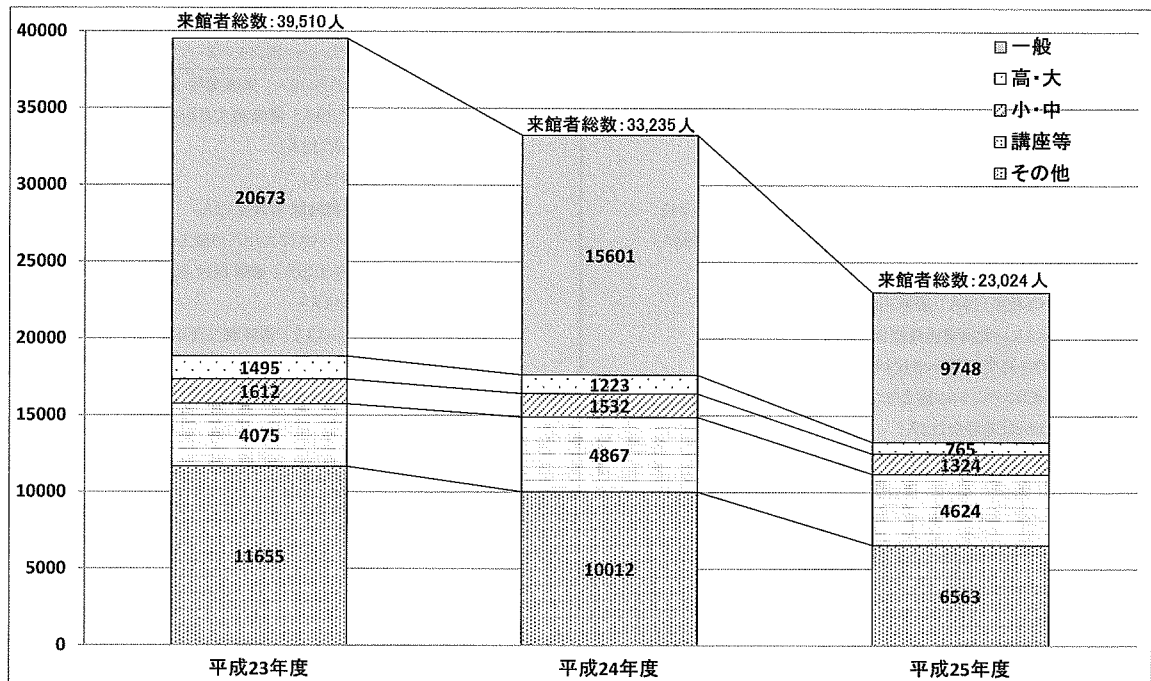
年/月/日	事項	年/月/日	事項
7/31	縄文土器作りちよじゅの森在宅介護支援センター(16人)於大杉平集会所 見学:三沢福祉事務所(27人)	9/18	取材:湘サウンズクリエイト(8人) 見学:サポートセンター虹(18人)
8/1	視察:八戸市水産振興課(27人) 見学:武蔵野美術大学(2人)	9/19	見学:函南保育園(41人)
8/2	合掌土器作り・見学:中野小学校教職員(6人) 視察:八戸市産業振興課(6人)	9/20	滑石の勾玉作り:六ヶ所村立尾駈小学校4年親子レク(56人) 取材:是川地区振興会(1人) 見学:JTB北海道(4人)
8/3	中学生・高校生ボランティア養成講座②(1人) 講師:当館学芸員 見学:南部藩ゆかりの都市との交流事業(36人)/チェコ日本大使館(5人)/ 八戸三社大祭ツアー(19人)/八戸大使東北夏祭りツアー(27人)/ 第9後方支援隊補給隊(26人) 取材:デーリー東北新聞社(1人)	9/21	シカ角で釣針作り教室(6人) 講師:当館学芸員 見学:つがる市立育成小学校4・5・6年(27人)
8/4	中学生・高校生ボランティア養成講座③(1人) 講師:当館学芸員 見学:八戸地域防災協会(25人)/読書普及協会(10人)	9/25	取材:撮影:小原流八戸支部(7人) 見学:三沢市郷土史研究会(6人)
8/5	見学:JT原料部(9人)	9/26	縄文土器作り・見学:是川小学校4年(40人) 見学:新郷村生活改善推進協議会(20人)
8/6	縄文土器作り・見学:島守小学校(33人) 琥珀の勾玉作り個人(2人) これかわ縄文まつり 火起こし練習(2人) 見学:とさめき世界遺産塾実行委員会(38人)	9/27	滑石の勾玉作り・見学:第一養護学校小学部6年(4人) 見学:ニッ屋すみれの会(26人)
8/7	全国市議会議長会(17人)	9/28	縄文土器野焼き(16人)
8/8	琥珀の勾玉作り東北中学校PTA研修委員会(17人) 視察:広島平和記念資料館(1人) 見学:八八会(40人)	9/30	取材:FM青森(1人)
8/9	見学:箱公民館(28人)/クラブツーリズム「歴史への旅」(29人) 取材:岩手日報社(1人)	10/1	見学:青森県地域活力振興課(9人) 取材:第三中学校2年生グッジョブ(デーリー東北新聞社)(3人)
8/10	中学生・高校生ボランティア養成講座④(1人) 講師:当館学芸員 見学:弘前大学地理学研究会(16人)	10/2	見学:東青学友会(20人)/精神保健福祉ボランティア駒の会(14人)/ 八戸工業大学感性デザイン学科2年(18人)
8/11	中学生・高校生ボランティア養成講座⑤(1人) 講師:当館学芸員	10/3	縄文土器作り・見学:三沢市ソラーズ小学校6年(34人) 縄文土器作り・見学:階上町立石ノ鉢小学校6年(39人)
8/13	滑石の勾玉作り・見学:エンゼルハウス(8人)	10/4	視察:東北市議会議長会(58人)
8/15	滑石の勾玉作り・見学:個人(4人)	10/5	見学:沖縄県北谷町教育委員会(12人)/函館市・青森市職員(7人)
8/16	見学:八戸市博物館博物館実習生(17人)	10/6	見学:東京女子大学同窓会青森支部(5人)
8/18	これかわ縄文まつり(700人) 於分館/縄文まつり縄文体験コーナー(184人)	10/7	縄文土器作り:是川小学校6年(33人) 見学:大館公民館(16人)
8/20	滑石の勾玉作り個人(8人) 見学:中里川目楽しく笑う会(11人)	10/8	視察:伊達市噴火湾文化研究所(1人)/みちのく五大雪祭り推進協議会 (15人) 見学:向陵高等学校全学年(44人)
8/21	取材:新潮社(1人) 視察:青函圏修学旅行視察旅行(4人)	10/9	講話:見学:八戸大学第二高等学校2年(38人)「ボランティア養成講座」 講師:当館学芸員 見学:久慈高校同級会(19人)/北東北の縄文世 界遺産候補遺跡の旅(7人)/青森県環境政策課(4人)
8/22	見学:養護老人ホーム長生園(20人)/クラブツーリズム「歴史への旅」(20人) /「輪グリーンファーム農家蔵(34人)/「輪びゅう」トラベルサービス(25人)/ NPO広域連携津軽ホストステイネットワーク(40人) 取材:青森県地域活力振興課(4人) 視察:小牧野遺跡ボランティア(17人)	10/10	縄文土器作り・見学:三沢市ソラーズ小学校6年(28人) 視察:平成南部藩1日市長(3人) 見学:十和田更生保護女性会(30人)
8/23	縄文土器作り・見学:野辺地町教育委員会(15人) 視察:栃木県立博物館(1人) 見学:國學院大学考古学研究室(33人)	10/11	滑石の勾玉作り・見学:青森県立三戸高等学校1年(67人) 講話:見学:派遣社会教育主事合同研修(21人)「縄文は川ボランティアに ついて」講師:当館学芸員 秋季企画展ボランティア向け内覧会(22人) 視察:道内旅行社向け現地視察ツアー(17人)
8/24	特別展考古学講座「安行文化のまつりと土器」(43人) 講師:上野 修一氏	10/12	見学:下長中学校1年(59人) 資料調査:国立歴史民俗博物館(12人) 秋季企画展「縄文時代の津軽半島」開催 ~11/24まで
8/25	見学:拍木高等学校PTA(26人)/駒澤大学久保田ゼミ(8人)	10/13	縄文土器作り講座①「素地土作り」(12人) 講師:当館学芸員 講話:見学:是川2丁目町内会(39人)「合掌土器について」講師:館学芸員
8/27	視察:國學院大学(8人)/広島県議会議員(1人)	10/14	視察:国立歴史民俗博物館(11人) 取材:BeFM(1人)
8/28	板状土器作り:是川小学校2年(38人)-是川東小学校1・2年(4人) 見学:妙団地いきいきウォーキング(10人)/東北町商工会女性部(15人)	10/16	取材:NHK八戸(1人)
8/29	見学:中沢中学校2年(5人)/「財」小原流八戸支部(2人) 視察:青森県観光連盟(8人)	10/17	見学:シアル会(28人)/ボビーの会(8人) 縄文土器作り・見学:三沢市ソラーズ小学校6年(28人)
8/30	見学:日本たばこ(3人)/盛岡市教育事務所管内教育振興協議会(7人) 視察:北海道議会(4人)	10/18	講話:見学:八戸自由大学(8人)「縄文時代の津軽半島」 講師:当館学芸員 見学:八戸生活と健康を守る会(26人)/ 八戸警察署(17人)八戸高等学校(249人)
8/31	見学:青森県立三戸高等学校1年(1人)	10/19	講話:見学:三八地区文化財保護研究集会(43人)「是川縄文の里整備事業 ~その経緯と現状~」講師:当館GL 見学:みちのく銀行平賀支店(15人)/栄会(7人) 取材:デーリー東北新聞社(1人)
9/1	見学:輪びゅうトラベルサービス(26人)	10/20	縄文土器作り講座②「形作り」(12人) 講師:当館学芸員 撮影:取材:マインドシェア(6人)
9/3	見学:個人団体(20人)	10/22	見学:工学院大学OB会(14人)
9/5	見学:二戸市立金田一小学校5年(37人)/GR OB会(5人)	10/22	見学:旧福地村職員年金者連盟(14人)/東北町立千曳小学校PTA(17人) /こまきの自然楽校(24人)
9/6	ペンダント作り・見学:是川小学校1年(46人)/東京都古代史研究会(21人)	10/23	見学:グループホーム音寿園(30人)
9/7	縄文の布を編む講座(9人) 講師:縄文は川ボランティア	10/24	縄文土器作り・見学:NPO法人あゆみの会すまいる工房(25人) 講話:見学:八戸ポータルミュージアムはっちボランティア研修(18人) 「八戸の縄文文化」講師:当館学芸員
9/8	見学:日本クルーズ客船(52人)/えみし学会(26人)/ シーピーツアーズ(9人)	10/25	視察:大分市議会(3人)/舟形町教育委員会(7人)
9/11	縄文土器作り・見学:むつ市立関根中学校1・2年(27人) 視察:青森県埋蔵文化財調査センター(2人)		
9/12	視察:復興庁(3人)/金沢市都市政策局(1人)		
9/13	講話:見学:鶴岡大学(56人)「是川遺跡と風張遺跡」講師:当館副参事 見学:新井田小学校6年(122人)		
9/14	滑石の勾玉作り・見学:みどりのかぜ児童クラブ(21人)		
9/15	見学:野田村納税貯蓄組合連合会(20人)/考古学OB会(10人)		
9/18	縄文土器作り:是川小学校5年(46人)-是川東小学校3・4・5年(6人)		

年/月/日	事項	年/月/日	事項
10/26	トチの実を食べる教室(13人) 講師:当館学芸員 於分館	1/30	視察:岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(2人)
10/27	見学:東北町連合PTA母親会(18人)	1/31	縄文土偶作り:鶴盟大学38の会(13人) 見学:三八五交通(2人)
10/29	見学:SS共室(18人)/花輪史談会(37人) 取材:川口印刷工業(4人) 視察:山形県立博物館ボランティア(27人)		視察:(株)加速器分析研究所(1人)
10/30	見学:多賀台ホトサロシ三寿会(34人)/八幡平市文化財保護審議会(8人) 視察:岩手県政策地域部地域振興室(2人)/アメリカ メーン州訪問団(21人)	2/1	ボランティア養成講座③(22人) 講師:当館学芸員 見学:八戸観光コンベンション協会モニターツアー(21人)/ 三八五交通(5人)/毎日新聞旅行(16人)
10/31	ペンダント作り見学:城下小学校6年親子レク(82人) 見学:柏崎小学校6年(90人)/福島市町内会連合会(30人) 視察:八戸観光コンベンション協会(7人)	2/5	視察:八戸圏域水道企業団(23人)
11/1	土製耳飾り作り見学:階上町立道仏小学校6年(14人)	2/8	ボランティア養成講座④(18人) 講師:当館学芸員 考古学講座⑥(90人) 講師:篠田 謙一氏 見学:三八五交通(2人)
11/2	縄文土器野焼き(13人) 於分館	2/11	火起こし:縄文土器拓本作り見学:ソーシャルファームエッグス(11人) 見学:盛岡大学文学部(33人)
11/6	琥珀・滑石の勾玉作り個人(3人) 見学:白山台公民館(18人)	2/14	見学:三八五交通(2人)
11/7	見学:青葉寿クラブ(17人)	2/15	ボランティア養成講座⑤(12人) 講師:当館学芸員 ボランティア学習会①(8人) 講師:縄文は川ボランティア
11/8	見学:十和田市立切田中学校1・3年(38人) 視察:八戸市財政課(5人)	2/17	かがり火えんぶり点火式火起こし:中居林小学校6年(3人) 於市庁前広場
11/9	企画展考古学講座「縄文時代の津軽半島」(45人) 講師:福田友之氏	2/18	見学:鶴盟大学38の会(6人)
11/11	見学:イギリス セインズベリー日本藝術研究所(20人)	2/19	見学:東奥日報えんぶり旅行センター(22人)/三八五交通(4人) 視察:元消防庁長官ほか(3人)
11/12	資料調査お茶の水女子大学ほか(3人) ~11/13まで	2/20	見学:新郷村教育振興協議会(13人)
11/13	テラコッタ野焼き(251人) 講師:当館学芸員・ボランティア 於是川中学校 見学:千葉県と畜場協会(10人)	2/22	縄文土器作り教室(兼ボランティア学習会②)(8人) 講師:当館学芸員ほか ボランティア養成講座⑥(12人) 講師:当館学芸員
11/14	縄文土器作り:是川小学校3年(34人) 見学:セイコーエプソン(4人) 視察:岩手県民会県北・沿岸復興議員連盟(13人)/ 恵庭市郷土資料館(1人)	2/23	視察:八戸観光コンベンション協会モニターツアー(14人)
11/15	縄文土器作り見学:五戸町立上市川小学校6年(18人) 見学:青森県建築士事務所協会(25人)	3/1	ボランティア養成講座⑦(19人) 講師:栗村 知弘氏 ボランティア学習会③(9人) 講師:縄文は川ボランティア
11/16	平成25年度遺跡調査報告会(61人) 講師:当館学芸員ほか 取材:青森放送八戸支社(1人)	3/3	見学:JAおやま桑支店(12人)
11/19	縄文土器作り:多賀台小学校6年親子レク(53人) 於多賀台小学校	3/4	見学:三八五交通(2人)
11/20	見学:NPO法人つがる縄文の会(24人)/十和田市消費者の会(20人)	3/6	視察:国立歴史民俗博物館 管理部(3人)
11/21	見学:八戸観光コンベンション協会モニターツアー(10人)	3/7	見学:青森ワークキャンパス(7人)/八戸商工会議所(4人)
11/23	ドングリを食べる教室(19人) 講師:当館学芸員 於分館 視察:無言館(2人)/北海道渡島総合振興局(9人)	3/8	ボランティア養成講座⑧(6人) 講師:後村 弘樹氏 見学:三八五交通(4人) ボランティア学習会④(13人) 講師:縄文は川ボランティア
11/26	滑石の勾玉作り見学:町畑小学校5年(14人)	3/9	見学:三八五交通(2人)
11/28	見学:八戸観光コンベンション協会モニターツアー(9人)	3/11	ペンダント作り見学:三沢市ソラーズ小学校1年(44人)
11/30	見学:くんのこほっば愛好会(13人) 取材:JR東日本盛岡支社(21人)/RABラジオ(3人)	3/12	ペンダント作り見学:三沢市ソラーズ小学校1年(46人) 見学:(株)LAS(4人)/三八五交通(2人)
12/3	縄文土器作り見学:老人クラブ連合会(16人)	3/14	ペンダント作り見学:三沢市ソラーズ小学校1年(50人)
12/4	土製耳飾り作り見学:三沢市ソラーズ小学校2年(121人)	3/15	縄文土器作り教室(兼ボランティア学習会⑤)(12人) 講師:当館学芸員ほか ボランティア養成講座⑨(7人) 講師:後村 弘樹氏 第11回土偶研究会-八戸大会-開催協力(30人) 発表:当館学芸員 見学:三八五交通(5人)
12/5	縄文土器作り講座③「縄文土器野焼き」(19人) 講師:当館学芸員 見学:根岸小学校6年(50人)/八戸山友会(16人)	3/16	第11回土偶研究会-八戸大会-開催協力(30人) 見学:三八五交通(2人)/五戸町中区納税貯蓄組合(13人)
12/7	考古学講座④(45人) 講師:工藤 雄一郎氏 琥珀・滑石の勾玉作り個人(3人)	3/19	見学:南部町文化協会(44人)/三八五交通(2人)
12/13	見学:第六区慶会(14人)	3/20	見学:(株)かつらぎ観光社陸会(10人)
12/14	東北芸術工科大学公開講座開催協力 於八戸市総合福祉会館	3/21	見学:三八五交通(4人)
12/15	視察:東北芸術工科大学(4人)	3/22	ボランティア養成講座⑩(11人) 講師:当館学芸員 縄文は川ボランティア 考古学講座⑦(76人) 講師:当館館長 見学:三八五交通(6人)
12/18	視察:伊達市噴火湾研究所(4人)	3/23	平成25年度教育旅行メニュー発表会(60人) 発表:当館学芸員 於青森県観光物産館アスパム 見学:八戸三八城ライオンズクラブ(24人)
12/21	縄文土器の拓本教室(10人) 講師:当館学芸員	3/24	見学:三八五交通(2人)
12/22	見学:八戸市観光コンベンション協会出版社モニターツアー(6人)	3/25	見学:三八五交通(2人)
H26/1/9	縄文土偶作り:老人クラブ連合会(16人)	3/26	見学:三八五交通(2人)
1/10	琥珀・滑石の勾玉作り個人(2人)	3/27	見学:三八五交通(11人)
1/11	考古学講座⑤(60人) 講師:辻 誠一郎氏 滑石でペンダント作り教室(15人) 講師:当館学芸員 取材:NHK八戸(1人)	3/28	ボランティア養成講座⑪(25人) 引率:当館学芸員 見学:三八五交通(2人)
1/15	見学:八戸工業高等専門学校1年(13人)	3/29	ボランティア養成講座⑫(7人) 講師:当館学芸員 八戸市総合教育センター-外国語指導5人(ALT) 見学:三八五交通(5人)
1/18	ボランティア養成講座①(20人) 講師:当館館長		
1/22	縄文土器作り:鶴盟大学38-3会(5人)		
1/25	ボランティア養成講座②(18人) 講師:当館学芸員 火起こし:滑石の勾玉作り見学:ソーシャルファームエッグス(7人)		
1/28	見学:八戸観光コンベンション協会メディア関係エージェンツツアー(6人) 取材:八戸商工会議所(1人)		

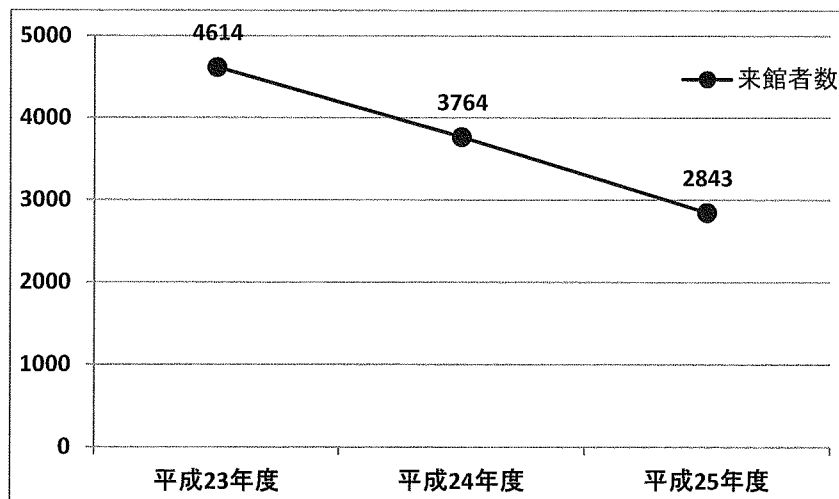
3. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本館 入館者 総計	開館 日数	平均 入館者	分館 入館者 総計	総計
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計								
4月	741	19	70	830	33	0	46	79	43	24	159	2	228	1,137	257	336	1,730	27	64	228	1,958
5月	1,218	20	118	1,356	78	0	108	186	14	12	123	4	153	1,695	854	451	3,000	27	111	465	3,465
6月	669	18	25	712	188	0	52	240	37	18	77	11	143	1,095	347	407	1,849	27	68	159	2,008
7月	855	14	45	914	298	78	0	376	10	8	63	7	88	1,378	235	434	2,047	27	76	201	2,248
8月	1,650	72	232	1,954	287	0	28	315	27	20	167	8	222	2,491	1,215	544	4,250	29	147	1,027	5,277
9月	709	37	42	788	159	0	78	237	23	17	97	5	142	1,167	586	429	2,182	26	84	316	2,498
10月	760	36	15	811	276	373	109	758	27	20	133	1	181	1,750	686	320	2,756	28	98	208	2,964
11月	536	7	74	617	69	0	32	101	11	9	63	0	83	801	577	396	1,774	26	68	112	1,886
12月	229	3	6	238	25	0	89	114	8	5	71	2	86	438	164	244	846	23	37	43	889
1月	201	17	19	237	0	0	0	0	8	6	17	4	35	272	56	330	658	24	27	20	678
2月	255	10	7	272	21	31	0	52	11	0	20	2	33	357	63	305	725	24	30	16	741
3月	394	30	25	449	97	0	104	201	6	3	31	2	42	692	87	428	1,207	27	45	48	1,255
計	8,217	283	678	9,178	1,531	482	646	2,659	225	142	1,021	48	1,436	13,273	5,127	4,624	23,024	315	73	2,843	25,867

本館における過去3年間の来館者数の推移



分館における過去3年間の来館者数の推移



4. 八戸市内小中学校利用状況

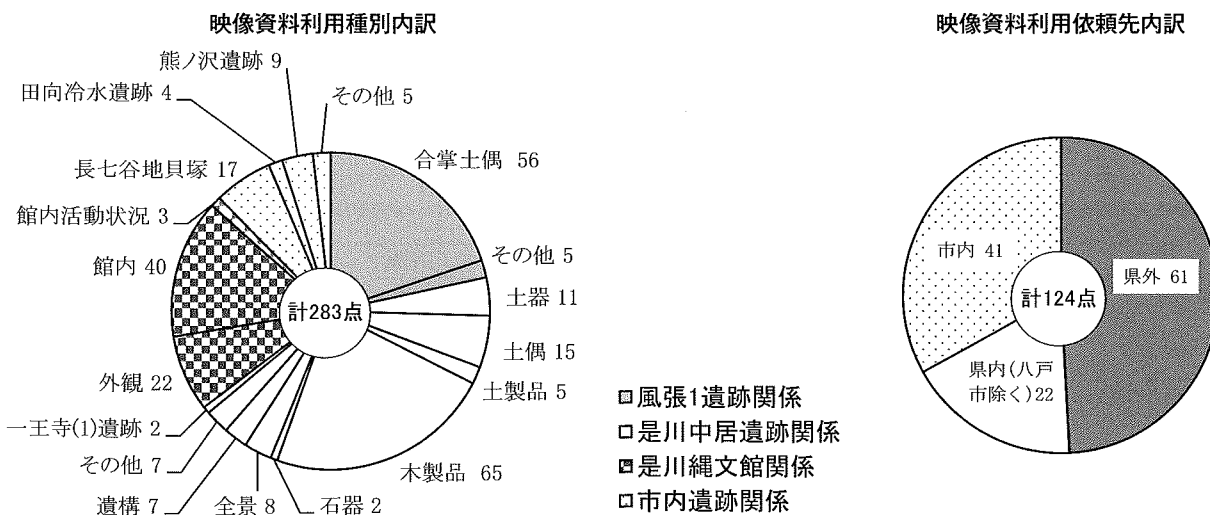
※見学はすべて免除入館、人数は児童数のみ記載

日付	学校名	種別	人数	日付	学校名	種別	人数	日付	学校名	種別	人数
5/1	市野沢小学校6年	見学	19人	7/17	種差小学校6年	見学・体験	18人	9/27	第一養護学校 小学部6年	見学・体験	3人
5/2	白山台小学校6年	見学・体験	147人	7/17	中居林小学校6年	見学	1人	10/7	是川小学校6年	体験	32人
5/2	吹上小学校6年	見学・体験	110人	8/6	島守小学校6年	見学・体験	12人	10/11	下長中学校1年	見学	58人
5/10	根城中学校1年	見学	142人	8/28	是川小学校2年	体験	37人	10/31	城下小学校6年 親子レク	見学・体験	41人
5/10	旭ヶ丘小学校6年	見学・体験	88人	8/28	是川東小学校1・2年	体験	3人	10/31	柏崎小学校6年	見学	84人
5/14	中居林小学校6年	見学・体験	68人	9/6	是川小学校1年	見学・体験	43人	11/13	是川中学校全学年 出前	体験	251人
6/3	鯨小学校6年 親子レク:出前	体験	48人	9/13	新井田小学校6年	見学	117人	11/14	是川小学校3年	体験	29人
6/6	白銀南中学校1年	見学・体験	128人	9/18	是川小学校5年	体験	44人	11/19	多賀台小学校6年 親子レク:出前	体験	27人
6/13	第一養護学校 中学部3年	見学	9人	9/18	是川東小学校3・4・5年	体験	4人	11/26	町畑小学校5年	見学・体験	12人
7/1	第二養護学校 中学部1・2年	見学・体験	12人	9/26	是川小学校4年	見学・体験	38人	12/5	根岸小学校6年	見学	44人
計23校			1,669人	※種別内訳			見学:1,194人	体験:1,195人	見学・体験:72人		

5. 資料利用状況

(1) 映像資料

平成25年度は、申請数124件、合計283点の映像資料の使用申請があった。前年に比べて資料点数は減少したものの、申請数は増加している。種別では、国宝「合掌土偶」、是川中居遺跡関連資料が多い。利用目的では、世界遺産登録をめざしている縄文遺跡群のPRに係る利用が増加しており、注目度の高さが伺える。



平成25年度映像資料利用依頼一覧

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
1	(株)雄山閣	是川中居遺跡 赤漆塗注口土器	1	転載	4/10	森郁夫著『鎮めとまじないの考古学 上』
2	(株)アッシュ	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	4/10	(株)洋泉社MOOK『たのしい「縄文」入門』
3	東奥日報社東京支社	常設展示室ほか	2	撮影	4/14	観光タブロイド特集
4	東日本旅客鉄道(株)盛岡支社 販売促進課	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	4/19	内部用資料・旅行用パンフレット
5	(株)創童舎	是川縄文館内	1	写真貸与・掲載	4/19	日刊紙『GWおでかけガイド2013』
6	(株)ヒューマンクリエイティブ	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	4/19	八食センター内での観光地紹介パネル
7	北海道新聞函館支社	是川縄文館外観ほか	3	撮影	4/23	日刊紙
8	NHK八戸支局	企画展示室	1	撮影	5/1	ニュース番組
9	C&I entertainment	是川中居遺跡 木胎漆器ほか	2	写真貸与・掲載	5/2	NHK『美の壺』

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
10	(有)スタジオ大島	是川縄文館外観ほか	3	撮影	5/2	白山台小学校卒業アルバム
11	(有)スタジオ大島	是川縄文館外観ほか	3	撮影	5/2	吹上小学校卒業アルバム
12	鹿角市教育委員会	是川中居遺跡 樹皮製容器・櫛出土状況ほか	2	写真貸与・掲載	5/8	『北海道・北東北の縄文遺跡群』パネルパンフレット
13	エムズクリエイト	是川縄文館内	1	撮影	5/10	旭ヶ丘小学校卒業アルバム
14	仙台市富沢遺跡保存館	田向冷水遺跡 旧石器時代調査状況ほか	4	写真貸与・掲載	5/12	『ひらけ旧石器人の道具箱』
15	岩手日報社	常設展示室	1	撮影	5/22	日刊紙
16	(株)平凡社	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	7	写真貸与・掲載	5/26	別紙太陽『縄文の世界』
17	特定医療法人清和会	是川縄文館外観ほか	2	撮影	5/26	DVD『縄文時代に起きた超巨大津波探索行』
18	こだまの園	常設展示室	1	撮影	5/30	パネル展
19	八戸ポータルミュージアムはっち	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	6/4	観光PR
20	コミュニティ放送局ビーエフエム	ボランティア養成講座	1	撮影	6/8	ラジオ番組『八戸リポーターズ』
21	青森県企画政策部地域活力振興課	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	6/12	『JAPAN EXPO』パネル展
22	十日町市博物館	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	撮影	6/18	秋季企画展『ビジュアル縄文博物館』
23	(株)びゅうラベルサービス国内旅行事業本部	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	6/19	旅行カタログ
24	デーリー東北新聞社	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	6/19	日刊紙『東北子ども旅行社』
25	(株)ファイラステーション	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	6/21	タウン誌『ふいーらあ倶楽部 7月号』
26	コスモス短歌会	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	撮影	6/25	機関誌『ふるさとコレクション』
27	舟形町教育委員会	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	7/2	『国宝「縄文の女神」里帰り展』
28	青森県の縄文遺跡群「世界遺産をめざす会」	是川石器時代遺跡 全景ほか	11	写真貸与・掲載	7/2	『青森県の縄文遺跡展』
29	東日本旅客鉄道(株)盛岡支社 販売促進課	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	7/3	レストラン列車「東北エモーション」パンフレット
30	(株)彩流社	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	7/5	相原精次著「古墳が語る古代史の「虚」-呪縛された歴史学」
31	秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室	是川中居遺跡 漆塗櫛・樹皮製容器出土状況ほか	4	写真貸与・掲載	7/11	縄文出張講座 縄文ナビゲーター育成講座用テキスト
32	秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室	是川中居遺跡 漆塗櫛・樹皮製容器出土状況ほか	4	写真貸与・掲載	7/11	縄文遺跡群写真展
33	三八地域県民局	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	撮影	7/18	三陸復興国立公園PR用DVD
34	函南小学校6年(東奥日報こども新聞)	企画展示室	1	撮影	7/20	日刊紙
35	コミュニティ放送局ビーエフエム	企画展示室	1	撮影	7/21	ラジオ番組『八戸リポーターズ』
36	(株)アム・プロモーション	是川中居遺跡 漆塗弓出土状況ほか	14	写真貸与・掲載	7/31	カレンダー『縄文ランドスケープ2014』
37	凸版印刷(株) 文化事業推進本部	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」 レプリカ(未接合4部品)	1	写真貸与・掲載	8/1	バーチャルリアリティー『DOGU 縄文人の祈りとカタチ』
38	デーリー東北新聞社	企画展示室	1	撮影	8/3	日刊紙
39	八戸市観光課	常設展示室	1	撮影	8/3	PR用
40	(株)アズマックス	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	8/7	NHK BSプレミアム『超古代からの挑戦状! ~縄文ストーンサークル編~』
41	公益社団法人八戸観光コンベンション協会	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	8/8	『東日本大震災復興フォーラム』パネリストのスライド発表
42	岩手日報社	企画展示室	1	撮影	8/9	日刊紙
43	出口鈴業	是川中居遺跡 第1号配石墓	1	写真貸与・掲載	8/12	自由研究
44	(株)ユニフォンプレスインターナショナル	是川中居遺跡 石匙	1	写真貸与・掲載	8/14	(株)帝國書院『最新日本史図説』
45	桶川市歴史民俗資料館	是川中居遺跡 漆塗樹皮製容器ほか	6	写真貸与・掲載	8/14	小企画展『縄文のむらを掘る-高井遺跡発掘45年-』
46	青森県地域活力振興課	是川縄文館外観ほか	2	撮影	8/22	『縄文ファン』HPコラム
47	弘前市教育委員会	一王寺(1)遺跡発掘調査状況ほか	2	写真貸与・掲載	8/23	『世界遺産をめざす縄文遺跡展』
48	青森スポーツクリエイション(株)	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	8/23	『青森ワッツ観光』掲載
49	(有)三猿舎	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	8/23	山本博文著『あなたの知らない青森県の歴史』
50	住岡英信	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	8/25	ロボットに関する国際学会 『人とエージェントのインタラクション特集』
51	八戸市博物館	林ノ前遺跡 鉄製鉤ほか	3	写真貸与・掲載	9/11	特別展『三陸-豊かな海の歴史と民俗-』
52	特定非営利活動法人三内丸山縄文発信の会	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	6	写真貸与・掲載	9/12	『Theじょうもん検定』
53	エムズクリエイト	常設展示室	1	撮影	9/13	新井田小学校卒業アルバム
54	(有)サウンドクリエイト	是川縄文館外観ほか	2	撮影	9/18	『桂小文治と行く!初秋の三陸復興公園ぶらり旅』
55	住岡英信	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	9/19	『情報処理学会関西支部支部大会』論文発表

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
56	(株)新泉社	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	9/20	『縄文土偶ガイドブック』
57	(株)グレイル	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	9/20	辰巳出版『国宝の地図帳』
58	(株)創童舎	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	9/20	パンフレット
59	是川地区振興会	常設展示室	1	撮影	9/20	観光ガイドブック
60	財団法人 小原流	是川縄文館外観ほか	2		9/25	会員誌『小原流挿し花』
61	山日誠一	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/1	PR活動
62	(株)むしか	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	10/1	『るるぶ青森14』
63	デーリー東北新聞社	常設展示室	1	撮影	10/1	日刊紙
64	青森県地域活力振興課	是川縄文館外観ほか	2	撮影	10/1	県内縄文文化のPR
65	読売新聞東京本社	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/1	特別展『日本国宝展』
66	青森県立美術館	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	10/1	『青森県立美術館コンセプトブック』
67	朝日新聞社秋田総局	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/3	日刊紙
68	(株)俊成出版社クラスマガジン編集部	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/3	会員向け『どんぐりクラブ』・『みんなの新聞』
69	北海道・北東北の縄文遺跡群の 世界遺産登録をめざす道民会議	是川石器時代遺跡 全景ほか	11	写真貸与・掲載	10/7	パネル展
70	徳島県小松島市人権推進課	是川中居遺跡 赤漆塗台付鉢形土器ほか	4	写真貸与・掲載	10/7	『展示と交流』パネル展
71	八戸工業大学第二高等学校2学年	常設展示室	1	撮影	10/9	レポート作成
72	青森県環境政策課	常設展示室	1	撮影	10/9	季刊紙『エルコレーター』
73	栗谷川写真館	是川縄文館外観ほか	2	撮影	10/11	下長中学校卒業アルバム
74	コミュニティ放送局ピーエフエム	常設展示室	1	撮影	10/12	ラジオ番組『八戸リポーターズ』
75	NHK八戸支局	是川縄文館外観ほか	2	撮影	10/14	ニュース番組
76	(株)グランフォート	是川縄文館館内	1	撮影	10/17	青森県立八戸高等学校卒業アルバム
77	デーリー東北新聞社	企画展示室	1	撮影	10/18	企画展取材
78	(株)マインドシェア	是川縄文館外観ほか	3	撮影	10/19	青い森鉄道パンフレット
79	(株)浜島書店	亀ヶ岡式土器集合写真ほか	2	写真貸与・掲載	10/22	日本史資料集『新詳日本史』
80	八戸市商工会議所	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/24	平成26年度版『八戸カレンダー』6月面
81	伊達市教育委員会	是川石器時代遺跡 全景ほか	5	写真貸与・掲載	10/24	北黄金貝塚情報センター展示
82	八戸テレビ	企画展示室	1	撮影	10/25	企画展ニュース取材
83	川口印刷工業(株)	是川縄文館外観ほか	2	撮影	10/29	『八戸市勢要覧』
84	イワダテフォトスタジオ	是川縄文館館内	1	撮影	10/31	八戸市立柏崎小学校卒業アルバム
85	金子量重	是川中居遺跡 藍漆塗器ほか	5	写真	11/20	韓国国立博物館刊行『金子量重寄贈アジアの民族造形』 『アジア民族造形学-創設への長い道のり-』
86	(株)新潮社	是川中居遺跡 飾り太刀ほか	3	写真貸与・掲載	11/21	書籍・電子書籍『青森縄文王国』
87	(株)イーストプレス	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	11/26	安田喜憲著『一万年前』
88	是川地区振興会	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	4	写真貸与・掲載	11/26	是川地域観光PR
89	坂井編集企画事務所	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	11/30	美術出版社『日本美術史』
90	JR東日本盛岡支社	是川縄文館外観ほか	2	撮影	11/30	取材
91	(株)アドプリンター	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	12/7	年賀状製作
92	(株)ネクスト	復元竪穴住居写真	1	写真貸与・掲載	12/10	縄文遺跡群パネル展
93	数研出版(株)	是川中居遺跡 赤漆塗壺形土器	1	写真貸与・掲載	12/13	『チャート式シリーズ 新日本史』
94	一般社団法人北海道大学出版会	是川中居遺跡 篋形木製品実測図	17	転載	12/13	荒山千恵著『音の考古学-楽器の源流を探る』
95	鈴木克彦	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	12/17	申請者著『シャマニズムの淵源を探る』
96	青森県企画政策部企画調整課	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	12/17	『よくわかる青森県』
97	青森県立郷土館	田向遺跡 金銅製壺鏡	1	写真貸与・掲載	12/17	季節展示「新春 馬うま大集合」
98	ジーグレイブ(株)	是川中居遺跡 スプーン形土製品ほか	1	写真貸与・掲載	12/19	(株)実業之日本社『もしもの図鑑 縄文生活のすすめ』
99	(株)寿郎社	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	12/19	大島直行著『月と蛇と縄文人』
100	三八五交通(株)	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	12/24	ホームページ
101	(株)創童舎	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	1/10	機関誌『フレロード』2月号
102	NHK八戸支局	体験交流室	1	撮影	1/11	教室取材
103	岩手県立博物館	館平遺跡竪穴遺構写真	1	写真貸与・掲載	1/16	テーマ展「比爪-もうひとつの平泉-」
104	(株)企画集団ぶりずむ	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	1/18	『あおり草子』221号
105	特定非営利活動法人三内丸山縄文発信の会	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	1/18	『平成25年度縄文語り部教室』広報チラシ
106	角利美	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	1/18	『青森パズル(観光パズル)』

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
107	八戸商工会議所	常設展示室	1	撮影	1/28	「八商工ニュース」
108	東日本高速道路㈱東北支社八戸管理事務所	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	1/29	開通広報ポスター・チラシ
109	星野リゾート青森屋	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	2/10	ホームページ
110	総合商研㈱	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	2/10	パンフレット
111	㈱協同	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	2/13	「あおもり教育旅行ガイド」
112	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	是川石器時代遺跡鳥瞰写真ほか	12	写真貸与・掲載	2/13	「世界遺産をめざす北の縄文展」
113	㈱平野印刷所	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	2/21	名刺
114	青森県立美術館	熊ノ林遺跡「深鉢形土器」ほか	9	写真掲載	2/26	企画展「種差」
115	「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会	是川石器時代遺跡全体写真 (史跡追加指定範囲内)ほか	3	写真貸与・掲載	3/10	「ニュースレター第14号」
116	デーリー東北新聞社	是川縄文館館内 (第11回土偶研究会)	1	撮影	3/16	日刊紙
117	東奥日報社	是川縄文館館内 (第11回土偶研究会)	1	撮影	3/16	日刊紙
118	山川出版社編集部	風張1遺跡出土 深鉢形土器	1	転載	3/20	文部科学省検定教科書「高等学校日本史」
119	鹿児島県立埋蔵文化財センター	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	3/20	「かごしま遺跡フォーラム2013資料集」
120	社団法人八戸市物産協会	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	3/20	ホームページ
121	一戸町教育委員会	是川石器時代遺跡鳥瞰写真	1	写真貸与・掲載	3/26	御所野縄文博物館内展示・常設展示図録掲載
122	縄文遺跡群世界遺産登録推進本部	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	3/27	キッズサイト「JOMONぐるぐる」掲載
123	㈱乙会	是川中居遺跡出土 壺形土器ほか	2	写真貸与・掲載	3/27	2014年度「中学生受験コース塾併用プラン」掲載
124	八戸市立図書館市史編纂室	風張1遺跡 国宝「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	4/1	「新編八戸市史 通史編Ⅲ 近現代」

(2) 実物資料

平成25年度は申請数7件、合計56点の貸出し依頼があった。うち4件が是川中居遺跡出土木製品・漆塗製品（複製品・復元品含む）である。

平成25年度資料貸出一覧

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	仙台市富沢遺跡保存館	田向冷水遺跡「ナイフ形石器」11点	H25.6.17～9.30	特別展「ひらけ旧石器人の道具箱」
		田向冷水遺跡「接合資料」1点		
		田向冷水遺跡「台形石器」3点		
		田向冷水遺跡「剥片」2点		
		田向冷水遺跡「両極石器」16点		
		田向冷水遺跡「敲石」3点		
		田向冷水遺跡「台石」2点		
2	青森県立美術館	熊ノ林遺跡「深鉢形土器」6点	H25.6.20～9.13	企画展「種差」
		熊ノ林遺跡「珠状耳飾」1点		
		熊ノ林遺跡「石匙」2点		
3	青森県の縄文遺跡群「世界遺産をめざす会」	中居遺跡「赤漆塗壺型土器」1点	H25.7.8～7.21	「青森県の縄文遺跡展」
		中居遺跡「赤漆塗腕輪（複製品）」1点		
		中居遺跡「赤漆塗耳飾（複製品）」1点		
		中居遺跡「赤漆塗櫛（複製品）」1点		
		中居遺跡「鉢形木胎漆器（複製品）」1点		

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
4	八戸市博物館	林ノ前遺跡「鉄製鈎」1点	H25.9.11～11.10	特別展「三陸-豊かな海の歴史と民俗-」
		田面木遺跡「鉄製ヤス」1点		
		中居遺跡「木製ヤス(複製品)」1点		
5	伊達市教育委員会	中居遺跡「小型赤彩壺」2点	H25.10.24～12.7	北黄金貝塚情報センター展示
		中居遺跡「漆塗壺」1点		
		中居遺跡「樹皮製容器(復元品)」1点		
		中居遺跡「漆塗櫛(復元品)」1点		
		中居遺跡「漆塗耳飾(復元品)」1点		
		中居遺跡「漆塗腕輪(復元品)」1点		
6	岩手県立博物館	館平遺跡「常滑産陶器甕」3点	H26.2.21～5.31	テーマ展「比爪-もうひとつの平泉-」
7	国立歴史民俗博物館	中居遺跡「漆塗櫛(複製品)」1点	H26.3.17～3.31	レプリカ作成

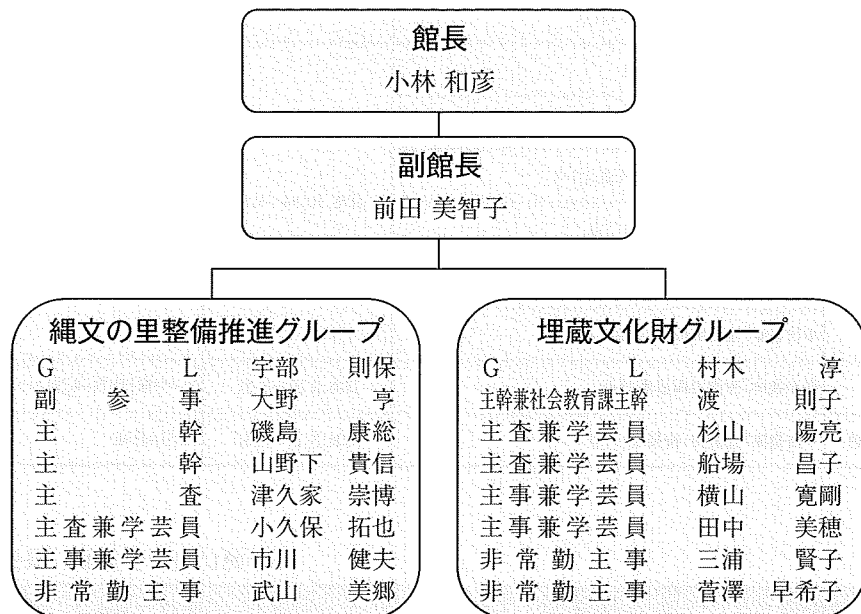
6. 予算概要

※予算は当初予算額。職員人件費は含まない。

予算内容	予算額 (円)	比率 (%)	備考
運営経費	96,320,000	80.62	
《内訳》 教育普及	8,396,000	7.03	
施設維持管理	79,122,000	66.22	
その他	8,802,000	7.37	
展示活動経費	23,162,000	19.38	
《内訳》 特別展経費	11,841,000	9.91	
企画展経費	11,321,000	9.47	
合 計	119,482,000	100.00	

IV. 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成7年 【会員数】153名（法人会員含む）

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 縄文文化についての研修
- ② 是川縄文館に関連する事業への協力
- ③ 縄文是川ボランティアへの支援
- ④ 縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤ 文化財保護思想の啓蒙など

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

このほか、毎年8月には「これかわ縄文まつり」を開催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。

平成25年8月18日（日）に18回目となる「これかわ縄文まつり」を催し、約700人の来場者があった。

また、当協会は、「青森県の縄文遺跡群 世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進に係る普及啓発を行っている。

平成25年10月26日（土）には「青森県の縄文遺跡群『世界遺産候補地探訪』」を開催した。世界文化遺産登録を目指す三内丸山遺跡・小牧野遺跡・ニツ森貝塚を見学し、参加者から好評を得た。



これかわ縄文まつりの様子



「世界遺産候補地探訪」の様子（青森市小牧野遺跡）

3. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和49年 【会員数】14人

【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。

主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動、及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。特に環境整備等の活動では、平成6年（1994）に実施された分館敷地内の復元竪穴住居建築において大きな原動力となった。また、復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。平成25年度は前年度に引き続き復元竪穴住居の修繕を実施し、2棟の再整備が終了した（I-3-(6)-③参照）。

4. 是川縄文隊

【設立年】平成24年 【会員数】9人

【目的・活動】

是川地域住民の宝である是川縄文遺跡の保存・活用に寄与するとともに、是川縄文館を核とした「是川縄文の里」の地域振興を図ることを目的に発足。当団体では、①是川縄文館来館者への地域のPR、②是川縄文館来館者増につながる地域特性を活かした活動、③是川遺跡の保存・活用・PRにつながる活動に関する事業を行う。

平成25年6月15日から11月2日まで、地域振興を図ることを目的として、是川縄文館敷地内で来館者へ周辺ガイドマップを配布したほか、是川産直野菜を販売する等、地域のPR活動を行った（10回開催）。

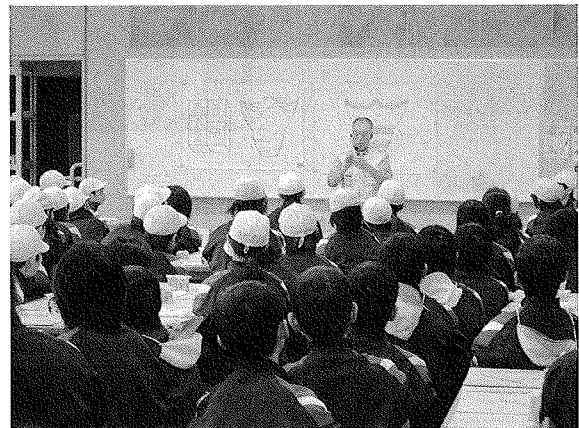
5. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成8年 【会員数】59人

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とする。当ボランティアではこうした目的のもと、下記の活動を行っている。

- ①日曜日縄文体験コーナー ②夏休み縄文体験コーナー
- ③冬季日曜日縄文体験コーナー ④土曜日体験教室
- ⑤夏休み考古学教室での体験学習の指導
- ⑥グループ・団体の体験学習の指導 ⑦縄文土器野焼き
- ⑧学校・公民館等での体験学習の指導 ⑨是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド ⑩研究・研修・学習会



体験学習の様子

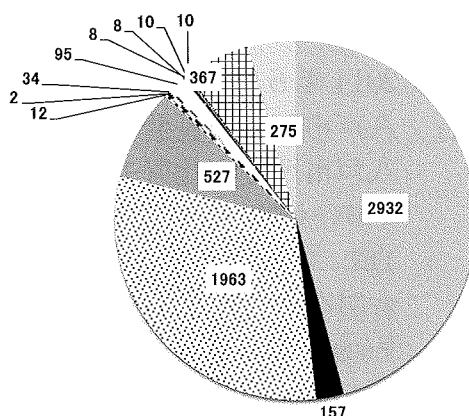
【活動実績】※体験学習指導の詳細については、I-3-(7)教育普及、III-2日記抄を参照されたい。

◆縄文是川ボランティア活動人数

月	開館日数	延人数	一日平均
4月	27日	230人	9人
5月	27日	268人	10人
6月	27日	234人	9人
7月	27日	251人	9人
8月	29日	267人	9人
9月	26日	211人	8人
10月	28日	224人	8人
11月	26日	197人	8人
12月	23日	154人	7人
1月	24日	178人	7人
2月	24日	151人	6人
3月	27日	189人	7人
計	315日	2,554人	8人

◆縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況

※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握した利用者数



- 八戸市内
- 北海道
- ▲ 東北
- 関東
- ▲ 中部
- 北陸
- ┌ 東海
- └ 近畿
- 中国
- 四国
- 九州
- 沖縄
- 海外
- 不明

都道府県	人数
八戸市内	2,932
北海道	157
東北	1,963
関東	527
中部	12
北陸	2
東海	34
近畿	95
中国	8
四国	8
九州	10
沖縄	10
海外	367
不明	275
総計	6,400

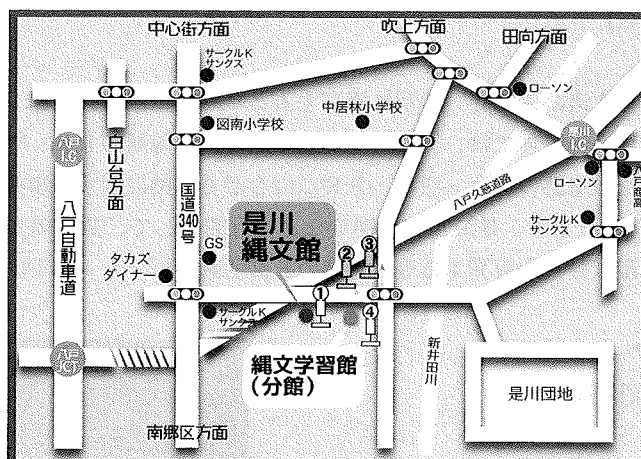
利用案内

- ◆開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日 毎週月曜日
(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月27日～1月4日)

◆観覧料

区分	個人	団体
一般	250円	130円
大学生・高校生	150円	80円
中学生・小学生	50円	30円

市内の中学生・小学生は無料
市内65歳以上、障がい者手帳お持ちの方は半額
特別展は料金が変わります



- ◆交通 バス：・JR八戸駅から土日祝日のみ南部バスで22分
・ラピアバスターミナル・中心街から南部バス(J42、J112)で約25分
・中心街バスターミナル3(中央通)から南部バスるっぷ(左回り)で約20分
自動車：八戸自動車道・八戸ICから約10分
- ◆駐車場案内 本館 普通車86台 大型バス6台 障がい者用3台
分館 普通車30台
- ◆所在地 本館 青森県八戸市大字是川字横山1 TEL:0178-38-9511
分館 青森県八戸市大字是川字中居3-1 TEL:0178-96-1484

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

年報

第3号 -平成25年度-

発行日 : 2014年6月13日
編集・発行 : 八戸市教育委員会
八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山1
TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392

印刷 : 有限会社 協同印刷
〒039-1101 青森県八戸市尻内町字尻内河原49-1
TEL 0178 (27) 4134 FAX 0178 (27) 3263